SOBA mieruka ユーザーマニュアル

Copyright © SOBA Project, Inc. All Rights Reserved.

Ver.2.6　2012/10/10 改訂

目　次

1.　はじめに 2
SOBA mieruka とは 2
主な特長 2
機能紹介 3
動作推奨環境 4
2.　SOBA mieruka クライアントのインストール 5
新規インストール 5
アップデート 7
3.　ログイン 8
4.　セッションを作成する 9
5.　セッションに参加する 11
6.　セッションウィンドウ画面の見方 13
セッションウィンドウ 各部の名称 13
タイトルバーの構成 14
コントロールバーの構成 14
セッションを終了する 15
7.　各種設定 15
カメラの設定方法 15
スピーカの設定方法 17
マイクの設定方法 18
参考情報：　設定項目に関する説明 18
プロキシの設定方法 19
8.　レイアウト変更 20
レイアウトの同期 21
9.　ツールの操作方法 22
ツールウィンドウの見方 22
メンバー一覧（ビデオ会議） 23
ホワイトボード 26
チャット 31
インターネット（ブラウザ共有） 34
デスクトップ共有 36
ファイル転送 41
テキスト 46
メディアプレイヤー（動画共有） 48
10. 録画機能 50
11. チーム機能 52
12. アドレス帳 54
アドレス帳を作成する 54
他のユーザーを招待する 56
13. ログアウト 56
14. その他 57
ユーザー登録情報の変更 57
ログイン名・パスワードを忘れたとき 57
SOBA mieruka クライアントの起動と終了について 57
15. 参考資料 58
メディアプレイヤー再生用動画変換手順 58
デジタルビデオカメラ使用手順（I-O-DATA GV-USB2） 62
デジタルビデオカメラ使用手順（Princeton デジ造 PCA-DAV3） 63

1. はじめに

SOBA mieruka とは

「SOBA mieruka (ソーバ ミエルカ)」は、業界初のピアツーピア(P2P)通信方式の純国産 Web 会議システム、P2P ならではの高いセキュリティと高速通信で、高画質な映像と遅延の少ないクリアな音声、スムーズなデスクトップ・アプリケーション共有が主な特長です。

なお、SOBA mieruka 上で作成されるネットワーク上の共有空間のことを“セッション”(Web 上の会議室のこと)と呼んでいます。また、当マニュアルでは、セッションの作成者(主催者)のことを“マスター”、セッションに参加しているユーザーのことを“メンバー”、またホワイトボードやデスクトップ共有など、セッションで共有する部品アプリケーションのことを“ツール”と呼んでいます。

主な特長

■ビジュアルコミュニケーションに必要な機能がすべて標準装備

◆ビデオ会議　◆チャット　◆ホワイトボード　◆インターネット　◆デスクトップ／アプリケーション共有
◆ファイル転送　◆テキスト　◆メディアプレイヤー

■強固なセキュリティ機能も標準装備

◆エンドツーエンド(端末間)での SSL 暗号方式　◆鍵長 256 ビットの暗号化と定期鍵交換

■企業ユースにしっかり対応～帯域負荷とセキュリティの問題も解決

◆LAN 内通信機能：ピア同士で通信するので、LAN・VPN 内ではファイアウォールなどインターネットへの接続部が通信帯域のボトルネックになりません。
◆プロキシ・中継サーバ選択機能：使用するサーバを任意に選択できるので、ネットワーク環境に複数のプロキシサーバやファイアウォールがある環境でも利用できます。

■P2P 型／クライアントアプリ方式ならではの柔軟性・多様性

◆サーバ不要で初期コスト削減　◆帯域の低い環境での利用が可能　◆通信が高速で遅延が最小限
◆映像・音声の送受信・停止を任意に選択可能　◆複数会議室の同時開催・参加が可能

■多様なカメラデバイス・高解像度カメラに対応！

◆USB カメラ・ビデオキャプチャカード・デジタルビデオ(DV)カメラなどのカメラデバイスの利用が可能
◆DV カメラを使用し、高精細・高解像度の映像の送受信が可能

■高度な管理機能

◆ログ出力機能：グループ管理者は利用状況(開催時間・参加ユーザー)のデータを取得できます。
◆グループ／チーム機能：ご契約企業毎にグループを設定しますが、グループ内の任意のメンバーや異なるグループに所属するユーザー同士でのチーム編成(複数)も可能で、自由にメンバー管理・会議運用ができます。

■柔軟な拡張性

◆SOBA Web API を利用すると、あなたの Web サイトとマッシュアップし、SOBA mieruka の機能を組み込むことができるので、新しいサービスが創造できます。
◆SOBA mieruka のプラグインを開発し拡張機能を付加したり、xml による定義によって画面レイアウトの変更も可能です。

機能紹介

◆ビデオ会議

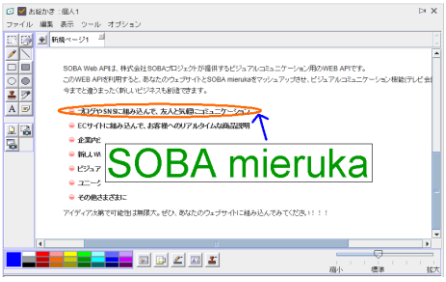
ウェブカメラとマイクを使用すれば、リアルタイムの映像・音声で、双方向のビジュアルコミュニケーションが実現します。
参加メンバーの映像は任意のサイズに切り替えられます。
DV カメラを使った高画質な映像配信も可能です。

◆テキストチャット

一般的なテキストチャットで、チャットの入力毎に、文字の装飾が可能で、絵文字も使用できます。チャットのログを保存することもできます。

◆ホワイトボード

メンバーで共有できるドローツールです。画面キャプチャ(データ取り込み)機能も搭載しているので、会議資料をキャプチャしてホワイトボード上に表示させ、そのデータを共有しながら参加メンバーで自由に線を描いたり、文字の書き込みを行うこともできます。キャンパスに書き込んだ描画・テキストは画像データとして保存できます。



◆インターネット(ブラウザ共有)

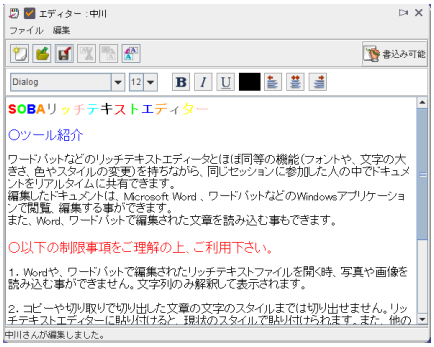
メンバーで共有できるウェブブラウザです。
同じページを閲覧することができ、誰かがリンクをクリックすると全員が同じページへ移動します。見せたいウェブサイトを分かりやすく示すことができます。

◆デスクトップ／アプリケーション共有

デスクトップを共有することができるツールです。
デスクトップ全体ではなく、Word・Excel・PowerPoint 等 Windows®で起動するアプリケーションを個別に共有することも可能です。
会議において、議事進行に合わせ資料作成・編集などもスムーズに行うことができ、物理的に同じ場所にいなくても、まるでデスクを共有しているかのようなコミュニケーションが可能です。

◆ファイル転送

会議で使用する資料や会議時にメンバーで共同編集した資料を参加メンバーに配布することができます。ファイルは複数選択し送信することができます。

◆テキスト メンバーで共有できるリッチテキストエディターです。 チャットと異なり文字を記入後にも削除・編集することができ、保存したファイルはWordやワードパッドなどのアプリケーションでも開くことができます。 また既存のリッチテキストファイル(rtf 形式)も読み込むことが可能です。	
◆メディアプレイヤー(動画共有) mpeg、avi、wmv 等の動画ファイルを再生し、他の参加者へリアルタイムに配信できます。	

動作推奨環境

	動作環境	推奨環境
対応 OS	Windows XP SP3 ／ Windows Vista SP1 以降 ／ Windows 7 ※なお、Windows XP の 64bit 版はサポートいたしません。	
CPU	Pentium4 1.4GHz 以上	Core2Duo プロセッサ相当以上
メモリ	512MB 以上	Windows XP の場合、1GB 以上 Windows Vista / 7 の場合、2GB 以上
ハードディスク使用量	120MB 以上	
ネットワーク環境	ADSL・光回線接続環境	
	上り・下り 500Kbps 以上(実測値)	上り・下り 2Mbps 以上(実測値)
必須環境	Java Runtime Environment 1.6.0_20 (JRE6 Update 20) ※SOBA mieruka のインストーラに同梱済み Microsoft DirectX 9.0 以降 ※Windows XP／Vista／7 には予めインストール済み	
ブラウザ	Microsoft Internet Explorer 7.0 以降 ※Mozilla Firefox、Google Chrome の最新バージョンも動作可	
周辺機器	Web(USB)カメラ・DV カメラ、ヘッドセットまたはマイクスピーカー(ノイズキャンセラー付またはエコーキャンセラー付を推奨)	
その他	DV カメラを使用する場合は、CPU: Core2Duo 相当以上、メモリ:2GB 以上、ネットワーク環境:上り・下り 10Mbps 以上(実測値)を推奨。PC への接続は、IEEE1394 (FireWire ・i-Link)ケーブルまたは USB ビデオキャプチャ(ソフトウェアエンコードタイプ)を使用します。	

■本表は快適にご利用いただくための目安であり、100%の動作を保障するものではありません。
インターネットを利用したベストエフォート型のサービスですので、個々の通信環境や使用機器環境によっては、通信品質が悪く正常にご利用いただけないケースもあります。

■通信回線環境として、初期の設定状態では、映像と音声で約 100Kbps の帯域を使用します。
10 人で使用 した場合、約 1Mbps の通信帯域が必要です。また、デスクトップ共有を行う場合、配信側から差分を送信しますが映像をひとつ追加した程度の負荷がかかります。必要な帯域幅を満たさない場合、また CPU 負荷が高すぎる場合、音声の途切れや遅延、画像の乱れが生じたり、場合によっては強制終了してしまうことがあります。モバイル／無線 LAN 環境でもご利用可能ですが、接続が途中で切れたり不安定なため、安定した光回線・有線 LAN 環境でのご利用を推奨します。

2. SOBA mieruka クライアントのインストール

新規インストール

SOBA mieruka を利用するにあたり、まずはご使用のパソコンに**管理者権限でログイン**して手動でインストールが必要です。(所要時間約 5 分)

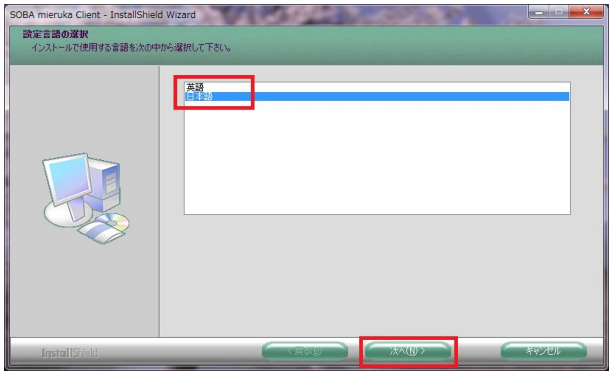
SOBA meiruka クライアントソフトウェアのダウンロードは、SOBA mieruka のトップページにある[ダウンロード]のリンクから行います。

もしくは、左図のように、「ログインページ」のリンクから、ログインページ左下のはじめての方[ダウンロード]から行います。

パソコンの OS に合わせて**[32 ビット版] [64 ビット版]**を選択してダウンロードします。

※左下の Windows [スタート]ボタンから「コンピュータ」にカーソルを合わせて右クリックするとプロパティ(システムのプロパティ)が開きますので、そこで OS の種類を確認できます。

インストーラ(SetupSobamieruka.exe 約 57.3MB)のダウンロードが完了したら、インストールを**[実行]**します。
※保存したファイルを実行した場合、下のダイアログが表示されますので同様に進みます。

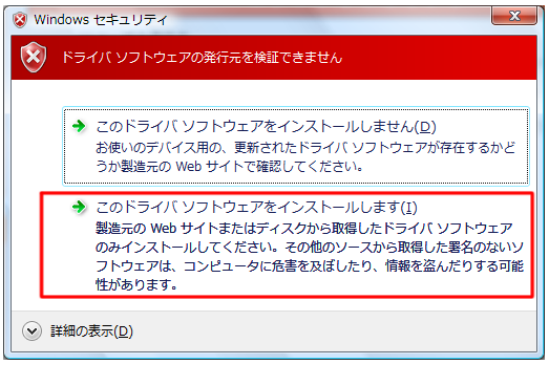


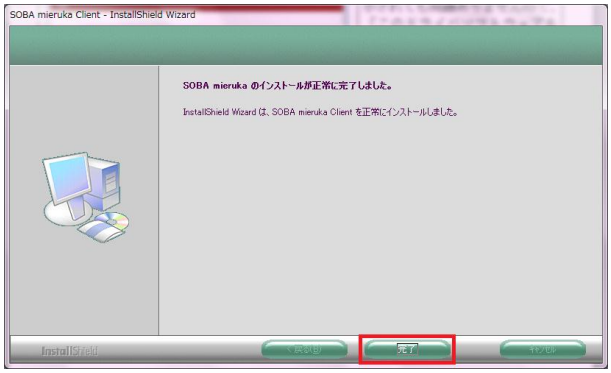
次に言語選択の画面が出ます。ここでは、英語、日本語の選択が可能です。任意の言語を選択して、**[次へ]**を押してください。

<table>
<tr>
<td>

</td>
<td>インストーラが起動すると、全画面表示になります。

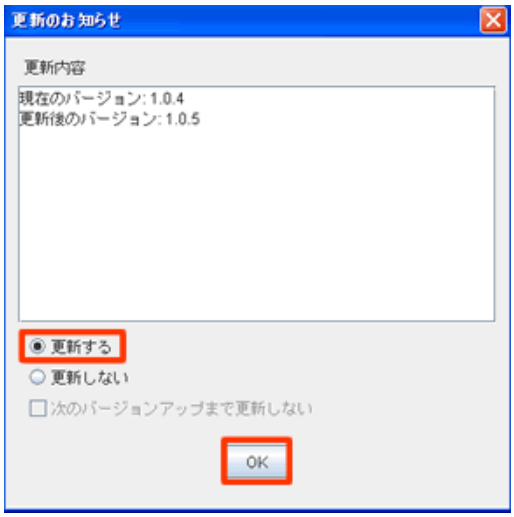
初めにインストールフォルダを指定します。
通常はデフォルトのまま（インストール先のフォルダ C:¥Program Files¥SOBA mieruka Client）で問題ありませんので、何も変えなくても結構です。

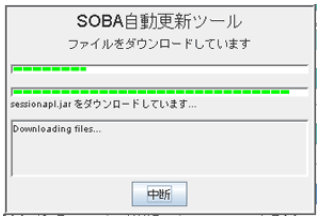
[次へ]をクリックするとインストールが始まります。</td>
</tr>
<tr>
<td> 
</td>
<td>クライアントソフトのインストールの後半、デスクトップ共有を利用するために使う仮想ドライバのインストールを行います。

途中 Windows セキュリティの警告画面が表示されますが問題ありませんので、「このドライバソフトウェアをインストールします(I)」（Windows XP の場合、「続行」）をクリックして最後までインストールを進めてください。</td>
</tr>
<tr>
<td> 
</td>
<td>この画面が表示されればインストールは終了です。
[完了]をクリックして、インストーラを終了します。

インストールが完了したら、必ず Windows の再起動を行ってください。</td>
</tr>
</table>

アップデート

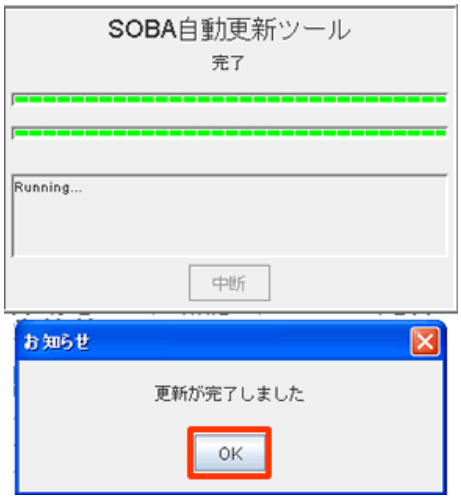




SOBA mieruka クライアントは、不具合の修正や機能向上などにより、随時バージョンアップされています。
SOBA mieruka ログイン後ソフトが起動する際、自動アップデートツールが起動して、左図のような**「更新のお知らせ」**が表示されることがあります。
SOBA mieruka の機能を十分お使いいただくためにもその都度更新していただくことをお勧めいたします。

※アップデートは管理者権限のあるユーザーでなくとも**一般ユーザー権限**でできます。

[更新する]にチェックを入れて[OK]をクリックしてください。
更新されるファイルのダウンロードとインストールが始まります。

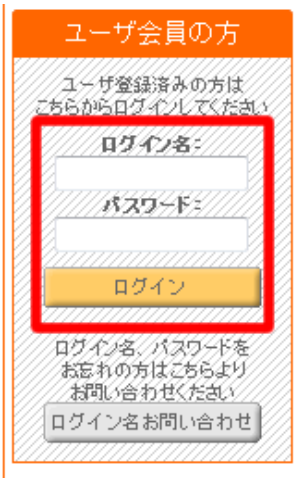


アップデートが完了しました。
左図のような更新完了のお知らせが表示されるので、[OK]をクリックしてこれでアップデートは終了です。

※アップデートに時間がかかる、もしくはアップデートに失敗した場合は、お手数ですが、直接インストーラをダウンロードして上書きインストールにて更新をお願いします。

ダウンロードページ URL↓
http://mieruka.soba-project.com/sobaportal/download.jsp

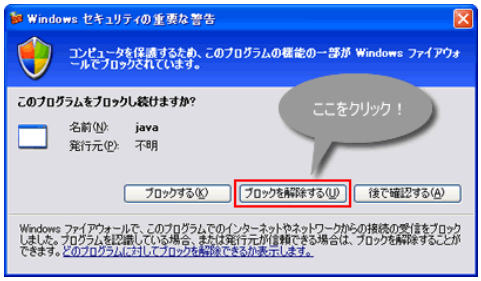
3. ログイン



SOBA mieruka のトップページ左端メニューから、ログイン名とパスワードを正しく入力し、[ログイン]ボタンをクリックします。
会員トップページの画面が表示されたら、ログインは成功です。

※ユーザー登録について、トライアル希望の方はまず無料トライアルアカウント登録を行ってアカウントを取得してください。
正式利用の方は、グループ管理者がアカウントを登録しますので、ご担当者に確認してください。

ログイン名は半角英数小文字、パスワードは半角英数字 6 文字以上です。大文字・小文字の区別があります。正式利用の方はログイン名には@以下グループ名が付きます（例えば「kyoto@soba」グループ名はご契約者毎に異なります）。



※左のダイアログは、Windows のファイアウォールを有効にされていると表示される場合があります。もし、表示された場合は、SOBA mieruka で利用する JAVA を有効にするためのものですので[ブロックを解除する]をクリックしてください。

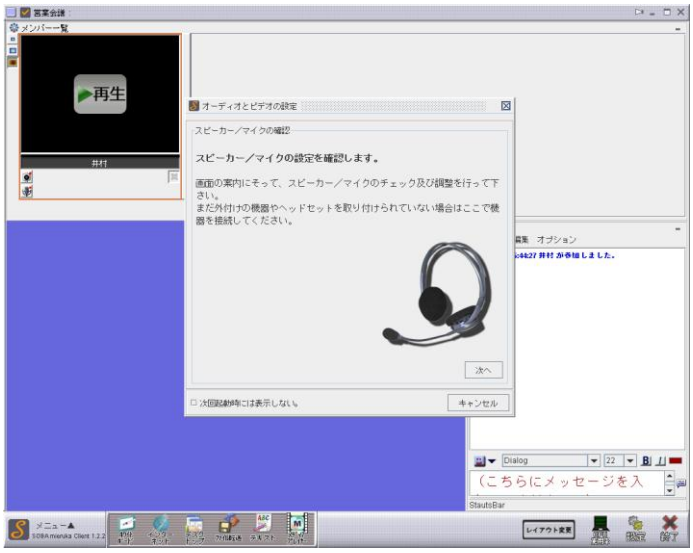
ログインすると最初に表示される会員トップページです。SOBA mieruka に関する様々なお知らせや、受信・送信メッセージ等が表示されます。また、左端メニューからセッションの作成、アドレス帳の作成、登録情報の変更等ができます。

①セッションメニュー セッションの作成・参加・アドレス帳の作成等こちらのメニューボタンから行います。
②お知らせ SOBA mieruka からのメンテナンス情報等のお知らせを掲示します。**[全て見る→]**で過去のお知らせが全て表示されます。
③受信メッセージ アドレス帳への追加許可依頼等に対する他のユーザーからの返信メッセージがある場合に表示されます。
④送信メッセージ アドレス帳への追加許可依頼等他のユーザーへ送ったメッセージがある場合に表示されます。
⑤セッション一覧 現在開催中のセッションの一覧が表示されます。

4. セッションを作成する

セッションメニューから①[**セッション作成**]ボタンをクリックし、セッション作成画面に切り替えます。②「**セッション名**」と「**トピックス**」を入力（必須）して③[**セッション作成**]ボタンをクリックします。

なお、「パスワード」（半角英数）の入力は任意です。入室を制限したい場合は設定します。（セッション参加する際パスワードの入力が必要になりますので、参加メンバーに事前にお伝えください。不要であれば、入力はスキップして構いません。なお、ここではパスワードを設定していません。）

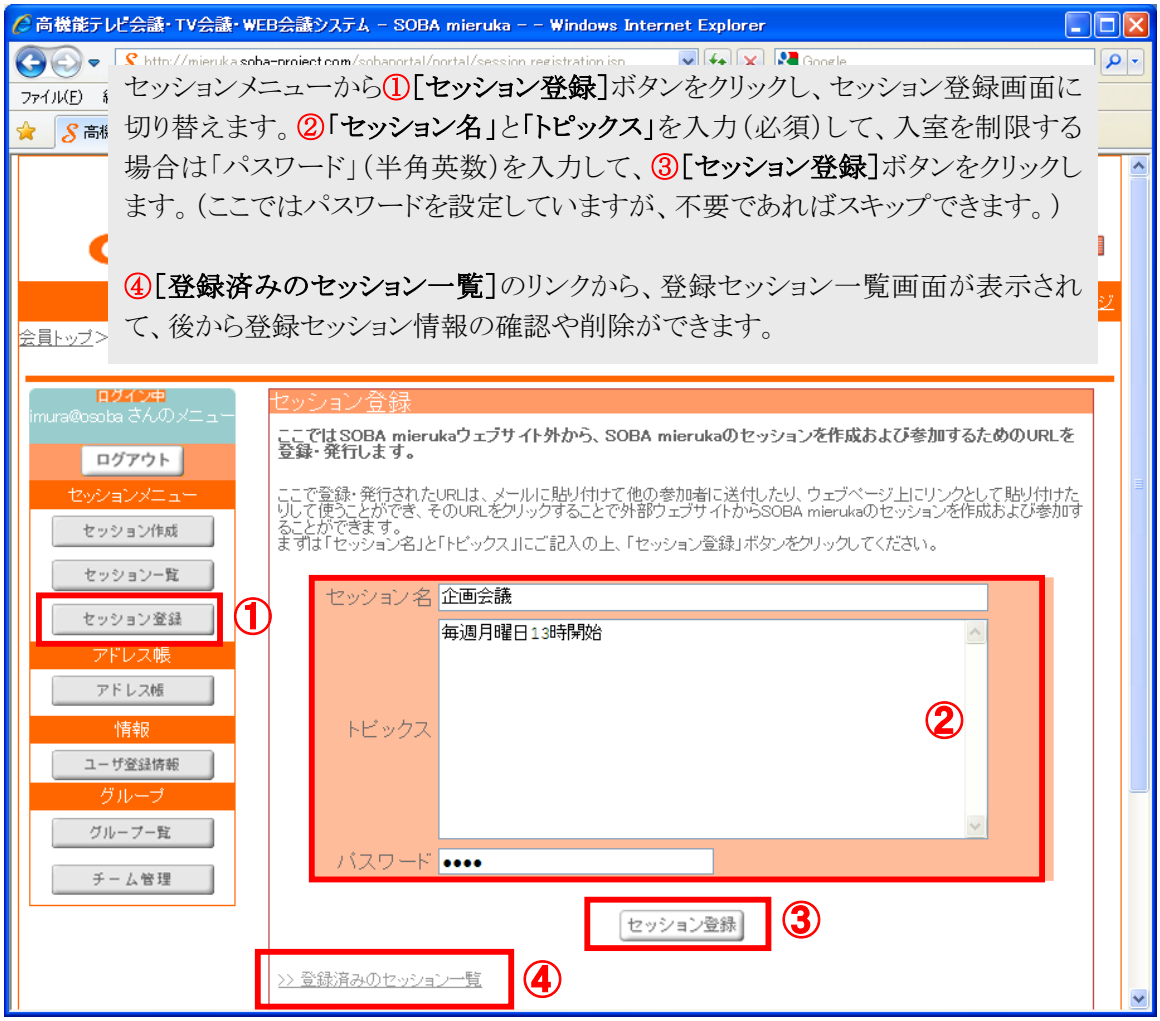


起動中はこのようなスプラッシュウィンドウが表示されますので、しばらく待つと左図のようにセッションウィンドウが立ち上がります。

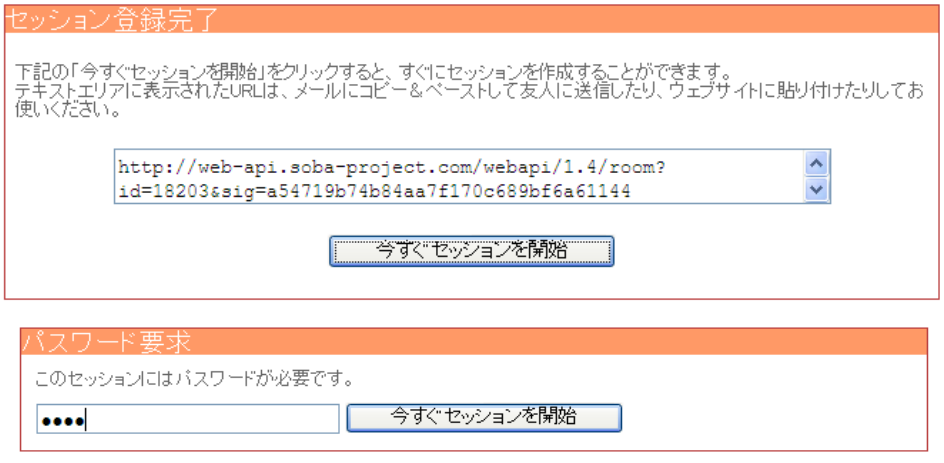
初回起動時には「オーディオとビデオの設定」ウィザードが起動します。

※他のメンバーがセッションに参加すると、Windows タスクバー上のセッションタイトルバーがオレンジ色に点滅し、入室したことがわかります。

メニュー[セッション登録]から、**セッション URL の作成およびセッションの開始**ができます。
URL をメールに貼り付けて参加者に開催案内をすれば、SOBA mieruka の Web サイトにログインしなくてもその登録セッション URL から**直接ログイン／参加**できます。登録者が削除しない限り繰り返し使えますので、それぞれ**お気に入りに追加**したり**デスクトップにショートカットを作成**したりおくことで、定例的に開催する**セッションの作成／参加手順を短縮化**できます。



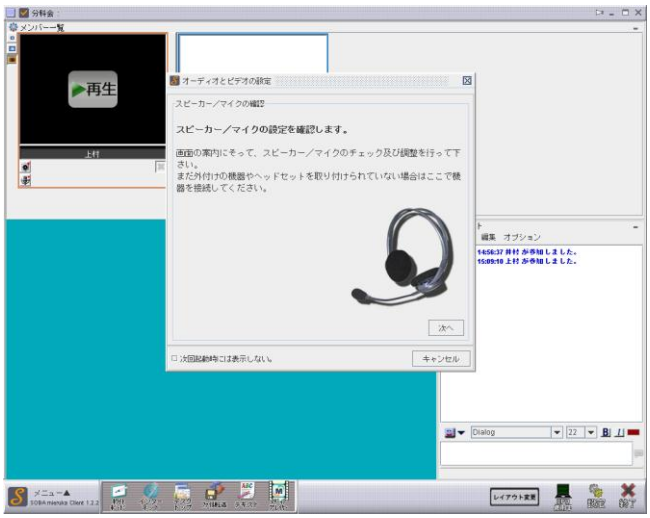
セッション登録環完了の画面になります。今すぐ開始する場合は[今すぐセッションを開始]をクリックして、セッションを開始できます。（ここでは、パスワードを設定しているので、パスワードが要求されています。）

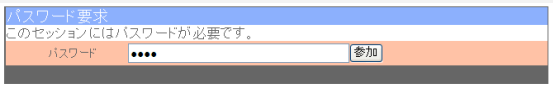


5. セッションに参加する

セッションメニュー①[**セッション一覧**]をクリックすると、②現在開催中のセッション一覧が表示されます。
参加するセッションの③[**参加**]ボタンをクリックし参加することができます。

なお、一覧の左側に鍵マークがついているセッションには、パスワードが設定されています。参加するにはパスワードの入力が必要です。





パスワードが設定されている場合、セッションウィンドウが立ち上がる前に、パスワード要求画面が表示されます。パスワードを正しく入力すると参加できます。

セッションに参加すると、左のような画面が表示されます。

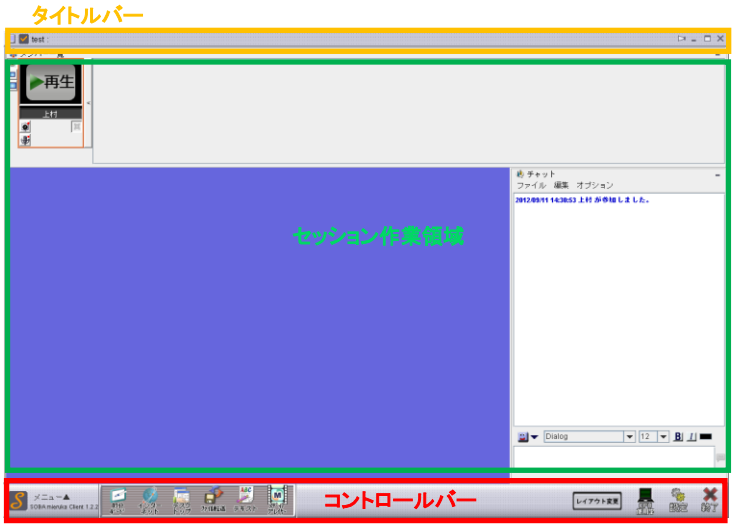
初回起動時には「オーディオとビデオの設定」ウィザードが起動します。ウィザードの内容に従ってカメラとマイクの設定を行ってください。

他に登録済みセッション URL から参加する方法もあります。
URL にアクセスすると、SOBA mieruka ログイン／登録セッション参加画面が表示されます。
ご使用のアカウントとセッションパスワード（設定されていなければ入力欄は表示されません）を入力すると、
すぐに下図のような起動中のスプラッシュウィンドウが表示されセッションウィンドウが立ち上がります。

6. セッションウィンドウ画面の見方

セッションウィンドウ 各部の名称

セッションウィンドウは、「タイトルバー」「セッション作業領域」「コントロールバー」と大きく 3 つの部分に分かれます。



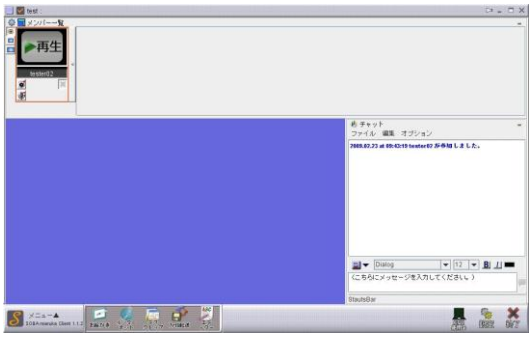
「タイトルバー」には、セッション名およびコントロールボタンが配置されています。

「セッション作業領域」には、上に「メンバー一覧」、右下に「チャット」が表示されます。残りのスペースには「ホワイトボード」「インターネット」等投入したツールのウィンドウが表示されます。

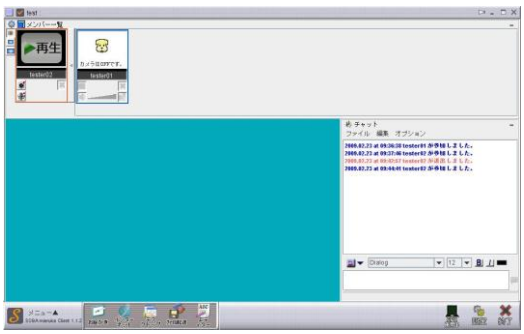
「コントロールバー」には、ツールアイコン（投入開始ボタン）やアプリケーション終了ボタン、レイアウト変更ボタンなどのユーザーインターフェイスが配置されています。

セッションウィンドウはリサイズ（表示サイズの変更）が可能です。ウィンドウの上下左右それぞれどの辺・角からでも、ドラッグしてウィンドウサイズを自由に変更することができます。また、タイトルバーをドラッグして、画面上好きな場所に移動することができます。変更・移動するときに矢印が出ます。

セッション作業領域の背景の色は、セッションを作成したマスター（背景色：ブルー）と参加したメンバー（背景色：グリーン）とで異なります。なお、マスターがセッションを脱退すると、他のメンバーのひとりが自動的にマスターになります。（セッションウィンドウ画面の色はグリーン⇒ブルーに変化します。）



〔セッションマスターの画面：ブルー〕



〔メンバーの画面：グリーン〕

タイトルバーの構成

①**「セッションタイトル」** セッション作成画面で入力した「セッション名」が表示されます。

②**[注目]ボタン** このボタンをクリックすると、あなた自身を含めたセッションの全メンバーの画面上でセッションのタイトルバーが点滅します。

③**[最小化]ボタン** セッションウィンドウの表示を最小化します。最小化すると、セッションウィンドウは Windows タスクバーに隠れます。元に戻すには、Windows タスクバーでそのセッションウィンドウのタスクボタンをクリックします。

④**[最大化]ボタン** セッションウィンドウの表示を最大化します。最大化すると、セッションウィンドウは Windows デスクトップの全画面に広がります。元に戻すには、[最大化]ボタンの代わりにタイトルバーに表示される、[元のサイズに戻す]ボタンをクリックします。

⑤**[終了]ボタン** セッションから脱退します。

＊＊＊

コントロールバーの構成

①**[セッションメニュー]** コントロールバーの[メニュー▲]と表示された部分をクリックすると、SOBA mieruka の[オンラインマニュアル]や[システム情報]の表示メニュー、(タイトルバーにも配置されている)セッションウィンドウの[最小化]／[最大化](既に最大化されている場合は[元のサイズ]に戻す)メニュー、[録画]ツール、[設定ウィザード]の起動や[終了]が実行できるメニューがあります。

②**[ツールアイコンエリア]** 「ホワイトボード」「インターネット」「デスクトップ」「ファイル転送」「テキスト」「メディアプレイヤー」の 6 つのツールアイコンが並びます。それぞれのアイコンをクリックするとツールが起動します。既に起動している場合、各ツールのアイコンをクリックすることで、そのツールが最前面に表示されます。

④**[CPU 使用率]ボタン** リアルタイムに CPU 負荷の情報を表示しています。CPU の負荷が低い場合は緑色ですが、CPU が高負荷になると赤色に変化します。また、ボタンをクリックするとシステム情報が表示されます。

⑤**[設定]ボタン** 設定ツールウィンドウが表示され、ネットワーク設定やカメラ・マイクの設定等が行えます。

⑥**[終了]ボタン** セッションから脱退します。

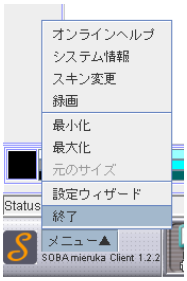
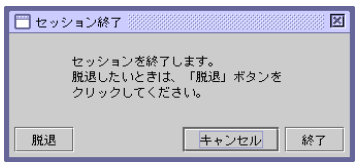
⑦**[レイアウト変更]ボタン** セッションに表示されているアプリケーションの配置(レイアウト)を変更します。
参加者がレイアウトを同期して変更(クリックする毎に、以下 3 モードに切り替え)ができます。
＜標準モード＞ ビデオを上／横に、チャットを右下に配置　＜資料モード＞ 共有中の資料のみを表示
＜ビデオ＆資料モード＞ ビデオを右／縦に配置し資料をメイン表示

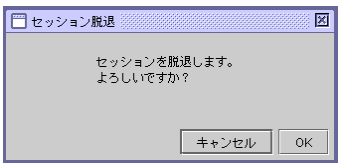
セッションを終了する

セッションの終了には、以下①～③3 つのいずれかで行います。

＜終　了＞ セッション自体を消滅させる(マスター権限)

＜脱　退＞ あなたがセッションを抜けるだけでセッション自体は消えず、他のメンバーでセッションを継続する(マスター・メンバー)

<table>
<tr>
<td>①「コントロールバー」のメニューから[終了]を選択
 
</td>
<td>②「コントロールバー」右端の[終了]ボタンをクリック
</td>
<td>③「タイトルバー」の[終了]ボタンをクリック
 </td>
</tr>
<tr>
<td colspan="2">〔セッションマスター画面：セッション「終了」か「脱退」の確認ダイアログ〕
 

マスターの場合、「終了」または「脱退」するかを確認するダイアログが表示されます。セッション自体を終了する場合は[終了]を、あなたがセッションを抜けるだけの場合は[脱退]をクリックします。なお、マスターが脱退すると、他のメンバーのひとりが自動的にマスターとなり、残りのメンバーでセッションを継続します。</td>
<td>〔セッションメンバー画面：セッション「脱退」の確認ダイアログ〕
 

メンバーの場合、セッションマスターとは異なり「脱退」のみを確認するダイアログが表示されます。あなたがセッションを抜ける場合は[OK]をクリックします。</td>
</tr>
</table>

7.　各種設定

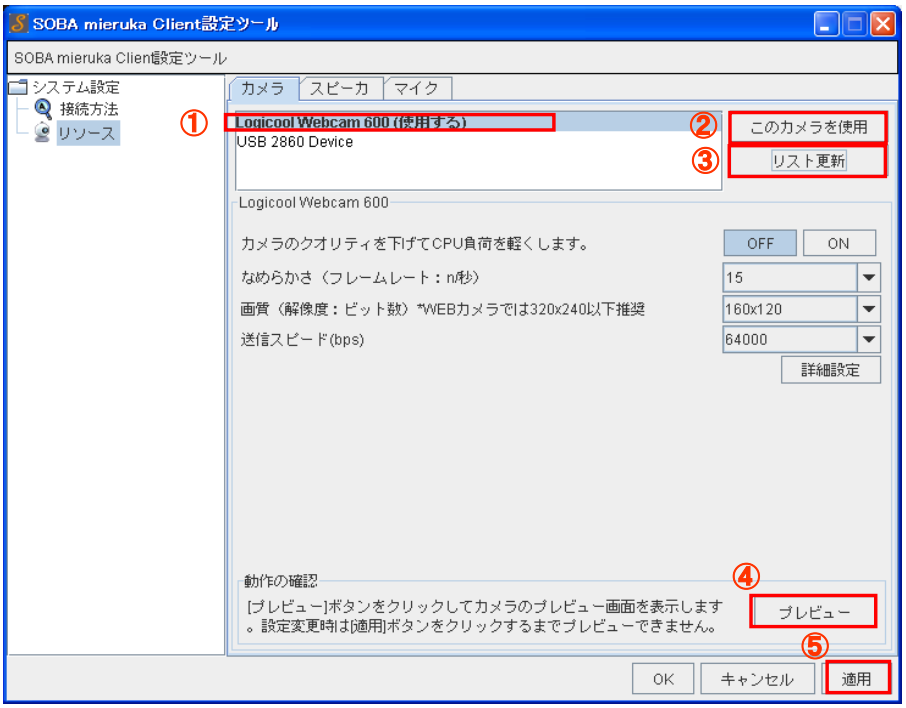
カメラの設定方法

お持ちの Web カメラのマニュアルに従い、ドライバをインストールして正しく PC に接続してください。

※現在ほとんどのカメラが UVC(USB Video Class)対応で、ドライバのインストールは不要ですので、パソコンの USB ポートにつなぐだけで使用可能です。なお、製品付属の CD はドライバが古いバージョンだったり壊れていることもあるので、各メーカーのサイトから最新のドライバをダウンロードしてください。

カメラは必ず SOBA mieruka にログインする前に接続してください。設定は以下のとおりです。

<table>
<tr>
<td>
</td>
<td>まずは、セッションへ参加(あるいは作成)して、セッションウィンドウを開き、右下の[設定]ボタンをクリックします。
もしくはスタートメニューから[すべてのプログラム]→[SOBA mieruka]→[SOBA 設定ツール]をクリックします。</td>
</tr>
</table>



SOBA mieruka Client 設定ツールが表示されたら、①使用するカメラデバイスを選択して②**「このカメラを使用」**をクリックします。

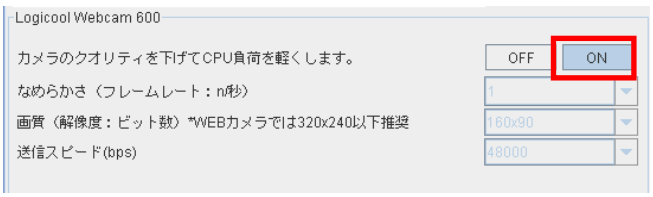
※プラグアンドプレイ対応ではないので、後からカメラを接続したり、途中ケーブルを抜き挿しするとデバイスを認識しません。デバイスが表示されない場合、またフレームレート等の設定値が表示されない場合は、一度③**「リスト更新」**を押してください。押しても何も表示されない場合、そもそも OS が認識していませんので、USB ケーブルを一旦外して挿し直す、USB ポートを替える、またカメラのドライバを再インストールする等行ってください。

④**「プレビュー」**ボタンを押して、選択したカメラが正しく動作していることを確認します。

なお、ドライバ毎の設定値が自動検出されますので、その中から任意に設定を行うことができます。
画質はそれぞれ送信側で変更します。初期設置は低画質になっていますので、画質を上げるには手動で設定を行ってください。
設定については、実際のご利用環境（接続拠点数、各拠点の PC スペック、回線速度等）に応じて、最適値に調整いただくことになりますが、こちらを目安にしてください。

◆低画質（初期設定）→フレームレート：15fps、画質：160x120、送信スピード: 64000bps
◆中画質（QVGA, 250kbps） →フレームレート：30fps、画質：360x240、送信スピード: 250000bps
◆高画質（VGA, 1Mbps）」 →フレームレート：30fps、画質：640x480、送信スピード:1000000bps

設定が完了したら ⑤**「適用」**をクリックします。



パソコンの動作が重い、映像の遅延等がある場合、**「カメラのクオリティを下げて CPU 負荷を軽くします」を[ON]にすると、**配信する映像は粗くなりますが（フレームレート：1fps、画質：160x90、送信スピード:48000bps）、CPU 負荷と送信帯域を軽減できますので、不安定な現象が解消し安定する可能性があります。

スピーカの設定方法

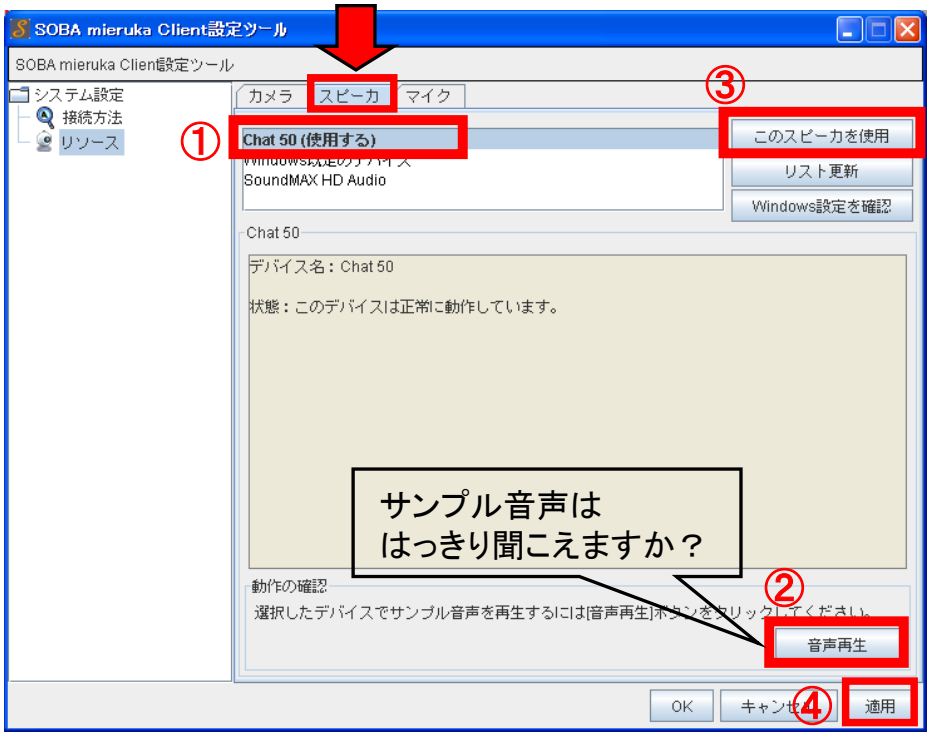
お持ちのヘッドセットまたはマイクスピーカを正しく PC に接続してください。

※ミニピンジャック接続／USB 接続タイプがありますが、ピンジャックはマイク端子とスピーカ端子を間違えないように挿してください。マイクスピーカ機器のファームウェアが提供されている場合はインストールしてください。詳しくは、メーカーサイト（サポート、ダウンロードのページ）で、製品の最新マニュアルおよびファームウェアの更新情報をご確認ください。

ヘッドセットまたはマイクスピーカは必ず SOBA mieruka にログインする前に接続してください。

設定は以下のとおりです。

まずは、セッションへ参加（あるいは作成）して、セッションウィンドウを開き、右下の[**設定**]ボタンをクリックします。
もしくはスタートメニューから[**すべてのプログラム**]→[SOBA mieruka]→[SOBA **設定ツール**]をクリックします。



設定ツールが表示されたら、タブをカメラから「スピーカ」に切り替えます。

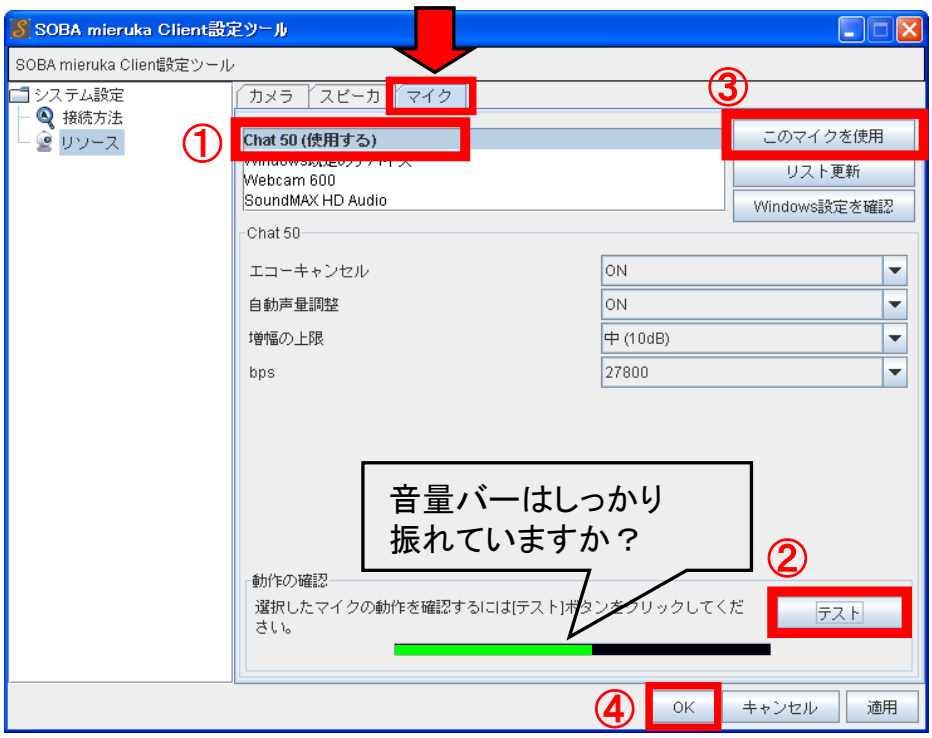
①使用する再生デバイスを選択します。（マウスで選択して反転させます。）
※デバイスが表示されない場合は 「リスト更新」を押します。

②「**音声再生**」ボタンを押すとサンプル音声が再生されます。
確認できたら停止して③「**このスピーカを使用**」をクリックします。

正常に動作している状態なのに音が聞こえないときは、スピーカがミュート（消音）か、音量が最小になっていると考えられます。
この場合、「Windows 設定を確認」→「サウンド」→「再生」→「プロパティ」→「レベル」で確認します。

設定が完了したら④「**適用**」をクリックします。 次はマイクの設定です。

マイクの設定方法



設定ツールのタブをスピーカから「マイク」に切り替えます。

①使用する録音デバイスを選択します。(マウスで選択して反転させます。)
※デバイスが表示されない場合は 「リスト更新」を押します。

②**「テスト」**ボタンを押して、実際にマイクに向かって話しかけ、**音量バー**が音声に反応していることを確認します。確認できたら中止して ③**「このマイクを使用」**をクリックします。

エラー発生の警告が出ていないのに全く反応がない、反応が小さいときは、マイクがミュート(消音)か音量が最小になっていると考えられます。
この場合「Windows 設定を確認」→「サウンド」→「録音」→「プロパティ」→「レベル」で確認します。

設定が完了したら④**「OK」**をクリックして、カメラ・スピーカ・マイク全ての設定は終了です。

参考情報： 設定項目に関する説明

カメラ画像送信

設定項目	項目の説明や設定のポイントなど
フレームレート(n/秒) 設定値例) 1／5／10／15／20／25／30	1 秒間に送信される画像の枚数(秒間コマ数)のことで、高く設定するほど、画面表示はなめらかになります。
画質(解像度:ビット数) 設定値例) 160x120／…／320x240／…／640x480…	解像度を上げると鮮明な画像を表示することができます。但し、設定を上げると、ソフトウェアでエンコードしているため、CPU の負荷は高くなります。

送信スピード(bps) 設定値例） 48000／64000／96000／128000／150000／…／900000／1000000／…／2000000	データ転送速度の平均値で、最大 2Mbps の設定が可能です。 上げると使用帯域が多くなります。 2,000,000bps＝2Mbps（毎秒 2 メガビット） ↓・・・8 ビット(bit)＝1 バイト(Byte) 250,000 バイト ↓・・・1 キロバイト＝1,024 バイト 250,000÷1,024≒244 キロバイト(KB) →1 秒間に転送されるデータ転送量

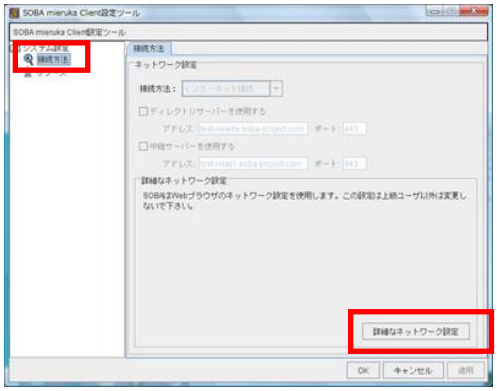
※DV カメラを接続し高画質な映像を配信される場合、ネットワーク／CPU 負荷に注意し設定を行ってください。

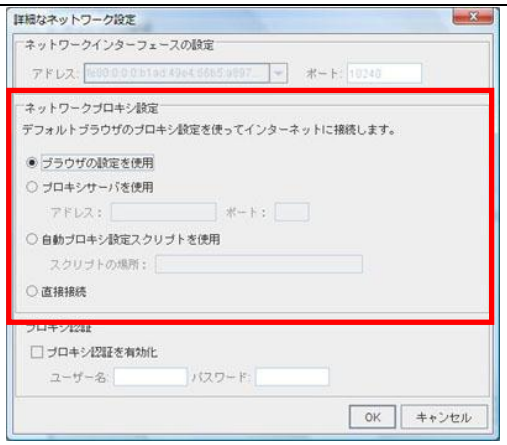
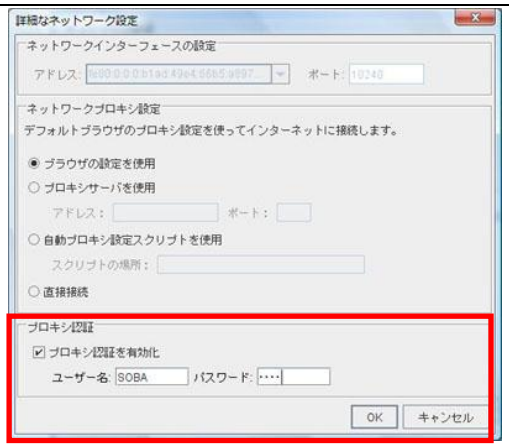
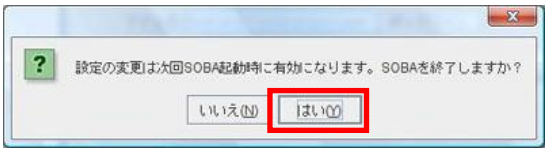
マイク音声送信

設定項目	項目の説明や設定のポイントなど
エコーキャンセル	ソフトウェアによるエコーキャンセルを行います。オンにするとハウリング防止に役立ちます。但し、ソフトウェアによる処理のため、エコーキャンセルの性能には限度があります。 なお、エコーキャンセル装置またはエコーキャンセル内蔵のマイクスピーカをご使用の場合、OFF にしないと機器側の機能が有効に機能しない場合があります。
自動声量調整	マイクの入力に合わせて、マイクのレベルを自動的に調整します。 なお、エコーキャンセル装置またはエコーキャンセル内蔵のマイクスピーカをご使用の場合、OFF にしないと機器側の機能が有効に機能しない場合があります。
増幅の上限	マイクのレベルの調整の幅を指定します。自動声量調整で、音声の増幅が気になる場合に調整します。（小:6db,中:10db,大 13db から選択可）
bps 64000	データ転送速度 （20600／23800／27800／34400／42400 から選択可）

プロキシの設定方法

プロキシ認証環境で SOBA mieruka をご利用の場合、以下のとおり設定を行ってください。
デフォルトでは SOBA mieruka はブラウザの設定を利用しますので、変更の必要はありません。

	セッションへ参加（あるいは作成）して、セッションウィンドウを開き、右下の**[設定]**ボタンをクリックします。 もしくはスタートメニューから**[すべてのプログラム]**→**[SOBA mieruka]**→**[SOBA 設定ツール]**をクリックします。
	設定ツールが表示されたら、画面左のツリー表示から、**接続方法**を選択します 接続方法の画面が表示されたら、右下の方にある**[詳細なネットワーク設定]**をクリックします。

	詳細なネットワーク設定のウィンドウでプロキシの設定を行います。 ・[**ブラウザの設定を使用**] お使いのデフォルトのブラウザのプロキシ設定を使います。 ・[**プロキシサーバを使用**] ブラウザのプロキシ設定を上書きして独自に設定を行います。 ・[**自動プロキシ設定スクリプトを使用**] proxy.pac 等の自動プロキシ設定を使う場合に利用します。 ・[**直接接続**] ブラウザではプロキシを使うが、SOBA では使わない場合などで利用します。
	プロキシ認証の設定が必要な場合は、[**プロキシ認証を有効化**] にチェックを付けて、ユーザー名とパスワードを入力してください。 プロキシの設定が終わったら[OK]をクリックして画面を閉じます。
	設定ツールを閉じる時、終了確認のメッセージが表示された場合は、「**はい**」をクリックして SOBA をもう一度起動させてください。

8. レイアウト変更

セッション内では常時表示されている「メンバー一覧」と「チャット」は自由に配置変更が可能です。

それぞれのアプリケーションのタイトルバーを移動したい位置にドラッグすると、指定した場所に移動します。

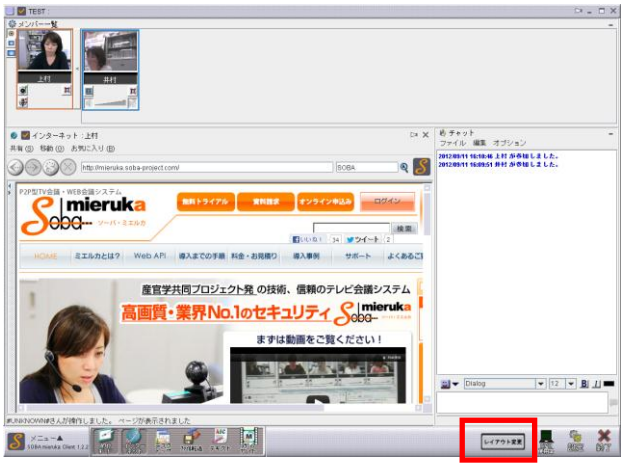
レイアウトの同期

またコントロールバーにある［**レイアウト変更**］ボタンを押すと、セッションに参加している人全ての画面レイアウトが同期されます。レイアウト変更ボタンを押す度に、**[資料モード][ビデオ＆資料モード][標準モード]**と切り替わります。

[資料モード]　カメラとマイクを表示させる「メンバー一覧」と「チャット」が最小化された状態です。
資料などを共有した時に、資料をメインにして会議を進めたい時に便利です。

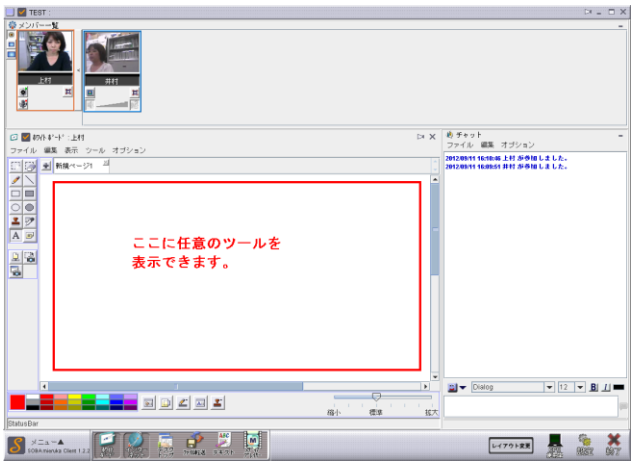
[ビデオ＆資料モード]　「メンバー一覧」が縦表示に切り替わり、「チャット」が最小化された状態です。
相手の顔を見ながら、資料などを共有したい時に便利です。デスクトップ共有を起動させると、
自動的にこのレイアウトに変更されます。

[標準モード]　「メンバー一覧」が横に表示され「チャット」が縦に表示された、標準的な SOBA mieruka のレイアウトです。



9.　ツールの操作方法

ツールウィンドウの見方



セッションで共有する部品アプリケーションのことを「ツール」と呼んでいますが、右図のようにツールには、常時表示されている「メンバー一覧」「チャット」と、任意に表示させる「ホワイトボード」「インターネット」「デスクトップ」「ファイル転送」「テキスト」「メディアプレイヤー」があります。

ツールは[ツールアイコンエリア]よりアイコンをクリックすることによりセッションに投入し共有できます。

ツールウィンドウのタイトルバー右端には、常時表示のツールと任意表示のツールで表示される内容が異なります。

常時表示ツール（メンバー一覧・チャット）に表示される機能

◆**[最小化]ボタン**　最小化するとセッション作業領域の端に細いバーとして表示されます。元に戻すには、[元のサイズに戻すボタン]をクリックします。

任意表示ツール（ホワイトボード・インターネット・デスクトップ・ファイル転送・テキスト・メディアプレイヤー）に表示される機能

◆**[注目]ボタン**　ボタンを押したツールがセッション参加の全メンバーの画面上で最前面に表示され、あなた自身を含めたセッションの全メンバーの画面上で、そのセッションのタイトルバーとツールウィンドウのタイトルバーの両方が点滅（濃紺色）します。

◆**[終了]ボタン**　（任意表示のツールのみ）ツールウィンドウを閉じ、ツールの共有を終了します。

メンバー一覧(ビデオ会議)

(1)画面構成

あなたの映像　左側に赤枠で表示
（右脇に折りたたみバーあり）

他のメンバーの映像　青枠で参加メンバーが順番に表示

再生ボタン　クリックすると映像と音声を同時に配信します。

カメラボタン　クリック毎に映像配信
ON 緑色⇔OFF 赤色

マイクボタン　クリック毎に音声配信
ON 緑色⇔OFF 赤色

フローティングボタン　映像表示時のみ有効になります。
クリックするとカメラの映像をフローティング表示します。

音量インジケータ　中央から拡がる緑色の光の大きさで、音量を視覚的に表示します。

画面サイズ切り替えボタン　順に、小・中・大　にカメラ画像の大きさを変更します。

きき耳ボタン　特定のメンバーの音声のみ聞こえるようになります。その他のメンバーの音声は聞こえなくなります。

(2)操作方法

<table>
<tr>
<td>a.映像と音声を配信・停止する

Point! 相手の音声が聞こえない場合、ご自身の PC の音量が小さくなっていませんか？コントロールパネルの「サウンドとオーディオ デバイスのプロパティ」で、デバイスの音量を確認しましょう。</td>
<td>セッションに入ると、あなたの映像と音声は、初期設定では映像停止・ミュート（消音）になっています。

映像と音声の配信を開始するには、 [再生]ボタンを押すか、①②の[カメラ]と[マイク]のボタンをクリックしてON（緑色）にします。どちらか片方だけの配信もできます。

同様に①②のあなたの[カメラ]と[マイク]のボタンをクリックして OFF にすると、映像と音声の配信を停止します。どちらか片方だけの停止もできます。

音量は、映像下の音量インジケータに緑色の光の拡がりで表示されます。

※ON にしても映像・音声が配信されない時は、再度設定ツールを確認して下さい。</td>
</tr>
<tr>
<td>b. 映像サイズを切り替える

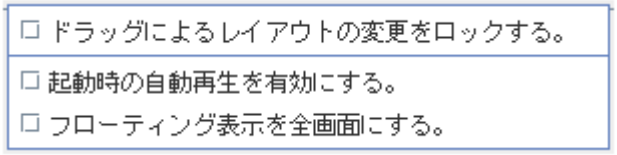
</td>
<td>①自分自身と参加メンバーの映像サイズは、（順に）小／中／大の 3 段階に切り替えられます。さらに、拡大したい画像をダブルクリックもしくは、②[フローティング]ボタンをクリックすると、フローティング表示になって別ウィンドウが開くので、ドラッグして自由に移動・またフローティング表示させた画像の枠をドラッグして、表示サイズを拡大することができます。

再び画像をダブルクリック、もしくは[元に戻す]ボタンをクリックすると、フローティング表示は解除され、元の画面に戻ります。</td>
</tr>
<tr>
<td>c. フローティング表示時のタイトルバーの説明

[常に手前に表示する]ボタン
[最大化]ボタン
[フローティング表示をやめる]ボタン</td>
<td>[常に手前に表示する]ボタンをクリックするとフローティングされた映像がどの Windows アプリよりも手前に表示されるようになります。常に手前に表示時は[常に手間に表示を解除]ボタンになります。

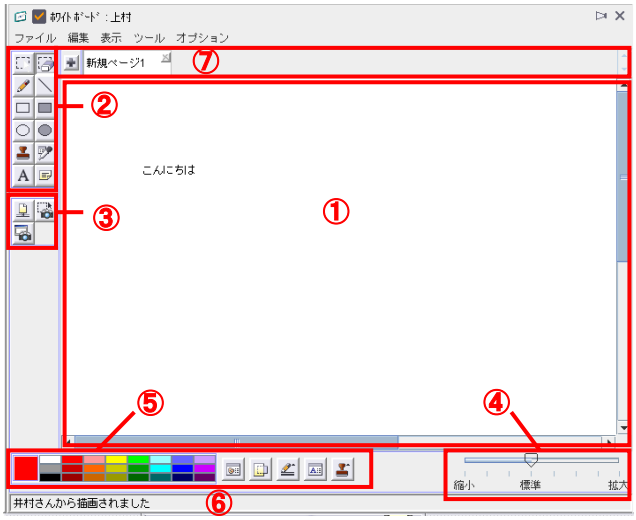
[最大化]ボタンをクリックするとそのユーザーの映像が全画面で表示されます。最大化表示時は[元に戻す]ボタンになります。

[フローティング表示をやめる]ボタンをクリックするとフローティング表示が解除されます。</td>
</tr>
</table>

d. 特定のメンバーの映像と音声を停止する 	あるメンバーの映像と音声の配信を停止するには、[**カメラ**]と[**マイク**]のボタンをクリックします。 ※停止中は×表示となり、映像はクリックした時点での停止画像のままになります。 再クリックすると解除され、配信を再開します。
e.特定のメンバーの音声だけ聞く 	①[**きき耳をたてる**]ボタンをクリックすると、そのメンバーの音声のみ聞こえるようになります。 ※画面枠の色が青→緑に変化 再クリックすると、きき耳を解除します。
f.ポップアップメニュー  	タイトルバーを右クリックするとポップアップメニューが表示されます。 ① [**ドラッグによるレイアウトの変更をロックする**] にチェックを入れると、レイアウトを変更できなくなります。 ② [**起動時の自動再生を有効にする**] にチェックを入れると、SOBA mieruka 起動時にカメラとマイクを自動的に再生するようになります。 ③ [**フローティング表示を全画面にする**]にチェックを入れると、[**フローティング**]ボタンをクリックした際に、映像が全画面で表示されるようになります。

ホワイトボード

(1)画面構成

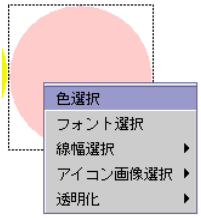


メニューバー

□ファイル(開く／保存／終了)
□編集(各種操作が可能:取り消し／再実行／切り取り／コピー／貼り付け／すべて選択／すべてコピー)
□表示(ツールバー②③／オプションバー④⑤／ステータスバー⑥の表示・非表示の選択が可能)
□ツール(ツールバー②③)
□オプション(オプションバー④、ページ追加)

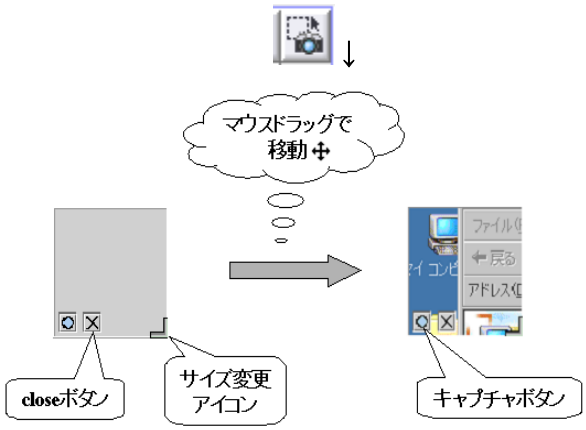
①**キャンバス** キャンパス上で自由に描画作成、画面を貼り付けて共有・書き込みが可能
②**ツールボタン** 描画操作が可能
③**アクションボタン** アクション操作が可能
④**ズームスライダー** キャンパスの表示を拡大縮小が可能(スライダーは共有されません)
⑤**オプションボタン** 色やフォントの変更など描画属性の選択が可能
⑥**ステータスバー** 操作不可の場合、ステータス(状況と理由)を表示
⑦**タブ** タブ(ページ)の表示・追加・削除が可能

(2)描画操作 ツールボタン／ツールメニュー／右クリックから実行

a.描画を行う	ツールボタンの中から任意の描画ツールを選択(初期設定は[ペン])し、キャンバス上でマウス操作により描画を行います。 描画を行う前に、オプションボタンで色や線の太さなどを設定すると、その後の描画の属性に適用されます。
b.オブジェクトを削除する	ツールボタンの中から**[消しゴム]**ツールを選択し、削除したいオブジェクトをクリックするか、複数のオブジェクトを選択する場合はその選択範囲をマウスで囲むようにドラッグ(点線の矩形で表示)します。
c.オブジェクトを移動する	ツールボタンの中から**[選択]**ツールを選択し、移動したいオブジェクトをクリックするか複数のオブジェクトの選択範囲をドラッグして(点線の矩形で表示)、移動したい場所までドラッグします。
d.描画属性を変変更する 	ツールボタンの中から**[選択]**ツールを選択し、変更したいオブジェクトや範囲をクリックまたはドラッグして、右ボタンをクリックすると、描画属性を変更できるオプション項目がポップアップメニューで開きます。 色など変更したい項目を選択し任意に変更することができます。

(3)アクション操作　③アクションボタン／ツールメニュー／右クリックから実行

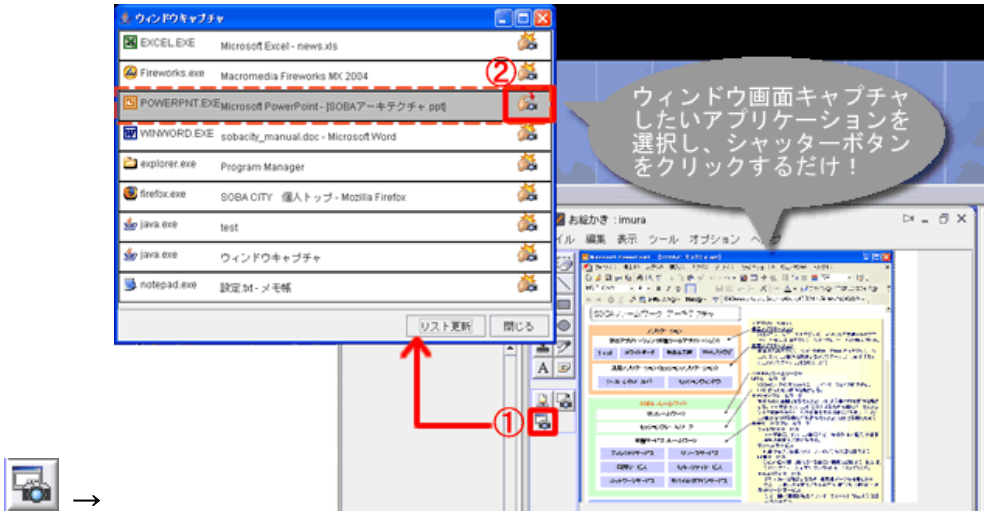
a.手動で範囲を選択し画面キャプチャする



スクリーン画面の一部分を画像としてクリップし、キャンバスに貼り付けます。（貼り付けた画像オブジェクトは移動・コピーの編集作業が可能）

①[**画面貼り付け**]ボタンをクリックすると、**キャプチャウィンドウ**が表示されます。
②このウィンドウをキャプチャしたい位置まで　マウスでドラッグして移動させ、ウィンドウ画面右下角をドラッグしてサイズを変更して、範囲を選択します。
③キャプチャボタンをクリックすると、キャンバス上に選択した範囲の画像が貼り付けられます。

b.ウィンドウ画面をキャプチャする



Word や Excel など実行中の Windows アプリケーションの画面を、そのまま丸ごとワンクリックで自動キャプチャできます。画面キャプチャ機能をさらに使いやすく簡単にした高機能版です。
画像をホワイトボードのキャンバス上に貼り付け、メンバー間で同時に閲覧・書き込みを行った後、画像ファイルとして保存もできるので、ミーティング時のホワイトボードとして便利にお使いいただけます。
①[**ウィンドウ貼り付け**]ボタンをクリックすると、ウィンドウキャプチャのポップアップ画面がスクリーン画面左角に表示され、現在実行中のアプリケーションの一覧が表示されます。
※[**リスト更新**]で最新の状態に更新、[**閉じる**]でポップアップ画面を終了します。
②キャプチャしたいアプリケーション・ファイルを選択しクリックすると、キャンバス上にウィンドウ画面がそのまま画像として貼り付けられます。

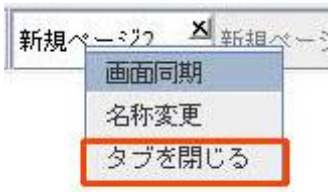
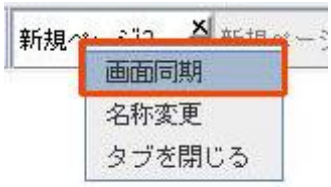
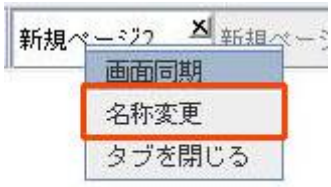
Point! 貼り付けた画像オブジェクトは、点線の矩形で表示され、移動・コピーの編集作業が可能です。
キャンバスのサイズより大きな画像が貼り付けられると、キャンバスサイズに縮小できます。

c.画面を同期する

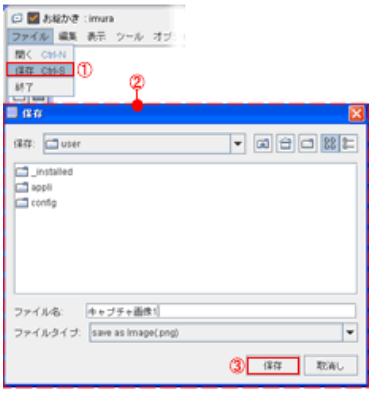
画面同期されると、他のメンバーにはステータスバーに赤文字で同期された趣旨の文言が表示されます。

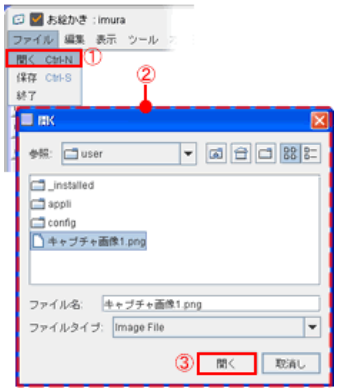
このツールを共有している他のメンバーの画面表示を、操作を行ったユーザーが表示中の画面表示と同一にします。

(4)タブ操作

a.タブ(ページ)を追加する	新規にタブ(ページ)を追加します。 ※この操作はメンバー間で同期されます。
b.タブ(ページ)を削除する 	タブ(ページ)を削除は以下の方法で可能です。 ① [**削除**]ボタンをクリックする ② タブ上で右クリックすると表示されるポップアップメニューから[**タブを閉じる**]をクリックする ③ タブの上でマウスの真ん中ボタンをクリックする 但しページが 1 ページしか存在しない場合は削除できません。 ※この操作はメンバー間で同期されます。
c.画面を同期する 	該当タブを右クリックするとポップアップが表示されます。ポップアップのメニューにある[**画面同期**]をクリックすると、他のメンバーの画面表示を、操作を行ったユーザーが選択したタブのページと同一にします。
d.タブの名称を変更する 	該当タブを右クリックするとポップアップが表示されます。ポップアップのメニューにある[**名称変更**]をクリックすると、タブの名称を変更することができます。タブの名称は共有されます。

(5)その他の操作　メニューバーから実行

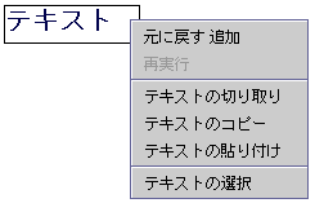
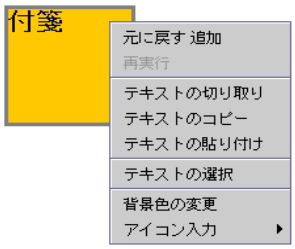
a.ファイルを保存する 	表示中のページに含まれる描画は、PNG 形式もしくはこのツール独自のベクタ形式で保存することができます。 メニュー[**ファイル**]－①[**保存**]をクリックすると、ファイル保存のウィンドウ②が表示されるので、ファイルタイプを選択(Image(.png)もしくは Vector data(.vct)より)しファイル名を入力したら、③[**保存**]をクリックします。

b.ファイルを開く  	メニュー[**ファイル**]－①[**開く**]をクリックすると、ファイル選択ウィンドウ②が表示されるので、ファイルを選択し、③[**開く**]をクリックすると、キャンパス上に表示されます。 保存したデータを開いて、再度作業することができます。また、その他に作成された BMP・PNG・JPEG・GIF などの画像ファイルも同様に表示させることができます。
c.描画操作を UNDO・REDO する	描画操作(描画、描画削除、描画移動、描画属性変更)は UNDO(アンドゥ:直前の操作の取り消し)ができます。メニュー[編集]－[**取り消し**]で実行します。また、メニュー[編集]－[**再実行**]により、UNDO した操作を REDO(リドゥ:やり直し)ができます。
d.描画をコピー・ペーストする	選択した描画をコピーし、キャンバスにペーストできます。コピーされた描画は、システムのクリップボードに画像として格納されるので、他アプリケーションからも利用が可能です。メニュー[編集]－[**コピー**]→[**貼り付け**]によって実行します。
e.印刷する	表示中のページに含まれる描画は、印刷することができます。 メニュー[ファイル]－[**印刷**]で実行します。

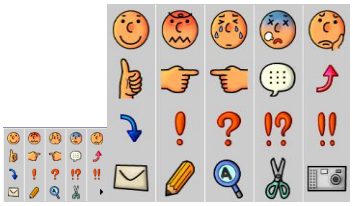
(6)描画ツールと描画属性一覧

＜描画ツール＞

	[**選択**] 描画を選択するためのツール。描画移動、描画属性変更の操作時に使用します。
	[**消しゴム**] 描画削除操作を行うためのツール。
	[**ペン**] フリーハンド(左クリックしたままでドラッグ)で描画を行うためのツール。
	[**直線**] 直線を描画するためのツール。
	[**矩形**] 矩形を描画するためのツール。
	[**円**] 直線を描画するためのツール。
	[**塗りつぶし矩形**] 塗りつぶし矩形を描画するためのツール。
	[**塗りつぶし円**] 塗りつぶし円を描画するためのツール。
	[**アイコン**] アイコン(オプションボタンの中の[アイコン画像選択]ボタンより変更可)を貼り付けるためのツール。
	[**属性コピー**] キャンバス上の描画から属性を取得するためのツール。描画上でクリックするとその描画属性がキャンバスの描画属性としてセットされます。

	［テキスト］テキストを描画するためのツール。クリックした位置にテキスト入力用のウィンドウが開き、以下のいずれかの操作により入力が確定します。 ①描画ツールを変更する。 ②表示中のページを変更する。  ③キャンバス上の別の位置をクリックする。（この操作を行う と、新たにテキスト入力用のウィンドウが開かれる。） ［テキスト］ツールを選択した状態で、入力が確定したテキストの上でクリックすると、入力ウィンドウが開いてテキストの編集を行うことができます。なお、右クリックすると、左図のように各種操作を行うためのメニューが表示されます。
	［付箋］テキストツールの高機能版。それぞれ入力と確定および編集の方法については上記の［テキスト］と同様。  ※［テキスト］と異なる点として 2 つ、(1)背景色（初期設定は山吹色）や大きさが（右下角をドラッグで）任意に変更できること、(2)入力ウィンドウの上で右クリックすると表示される各種操作を行うためのメニューが、テキスト編集時のメニューに加え、背景色の変更とアイコンの入力も可能なこと、があります。

＜描画属性＞

	［色選択］ あらかじめ 24 色がカラーパレットに設定されていて、左端の大きなパレットに現在選択されている色が表示されます。このボタンで混色して任意の色を作成し、描画やテキストの色を選択することができます。（初期設定は黒）
	［透明化］ 描画の色を透明・不透明かを選択できます。（初期設定は不透明）
	［線幅選択］ 描画の線幅を選択できます。（1point（初期設定）4point, 10point, 18point,30point の 5 段階から選択可能）
	［フォント選択］ テキストツール、付箋ツールのテキストのフォントを選択できます。コンピュータにインストールされているフォントから選択可能。
	［アイコン画像選択］ アイコンツール使用時のアイコンを選択できます。 約 20 種類（各種大小サイズあり）の中から選択可能。 
	［ズームスライダー］ キャンバスの画面表示のサイズを切り替えることができます。表示の切り替えは、リアルタイムに適用されます。但し、表示の倍率を変更しているだけで、実際の画像を大きくしている訳ではありません。また、表示倍率は共有されません。

チャット

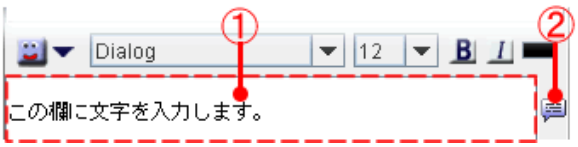
(1)画面構成

メニューバー
□ファイル(ログを自動保存／ログを保存)
□編集(切り取り／コピー／貼り付け／画面消去)
□オプション(フォント／キーワード)

①チャット表示欄
②チャット入力欄
③発言
④絵文字
⑤フォント選択
⑥サイズ変更
⑦太字
⑧イタリック
⑨色

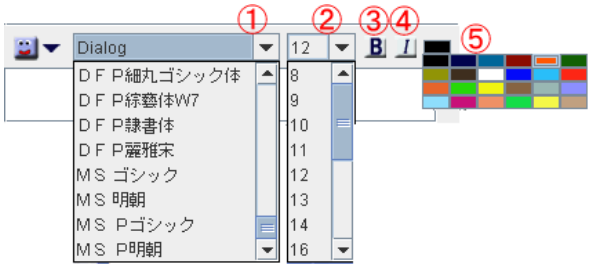
(2)基本操作

a.文字を入力する



図中①のチャット入力欄にテキストを入力し、Enterキーを押すか、②[発言]ボタンをクリックすると、上のチャット表示欄に表示されます。

b.フォントの設定を変更する

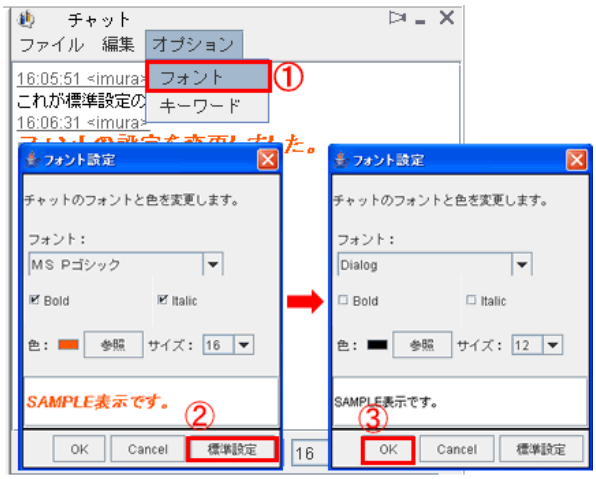


図中①～⑤をクリックし、①フォントの種類／②サイズ／③太字④イタリック⑤色をそれぞれ任意に選択し、設定を変更することができます。

発言毎にその都度変更可能で、リアルタイムに適用されます。

左下図は、標準設定のフォントと変更した設定のフォントの一例です。

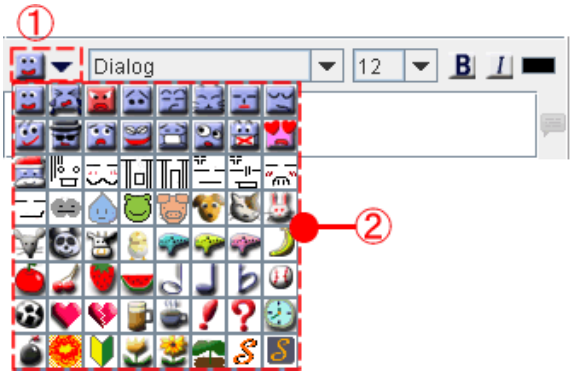
c.フォントの設定を元に戻す



変更したフォントの設定を元（標準設定）に戻すには、メニュー[オプション] －①[フォント]をクリックし、[フォント設定]のウィンドウを表示させます。

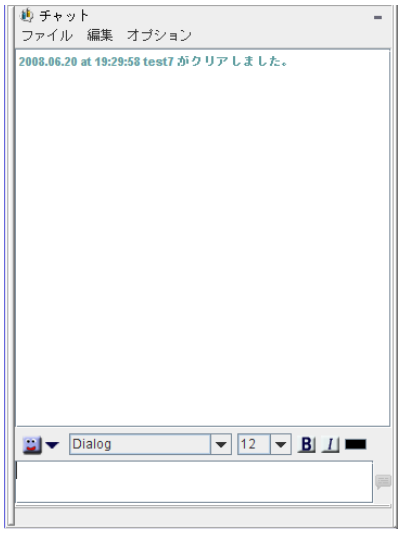
②[標準設定]をクリックし、標準設定に切り替わるので③[OK]をクリックすると、フォントの設定を元に戻すことができます。

d.絵文字を使う



図中①をクリックすると、②のウィンドウが表示され、64 種類の中から任意の絵文字が選択できます。

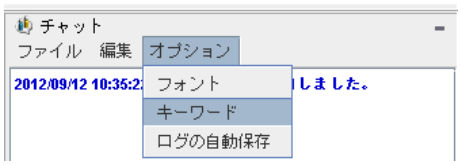
e.発言文字を削除する

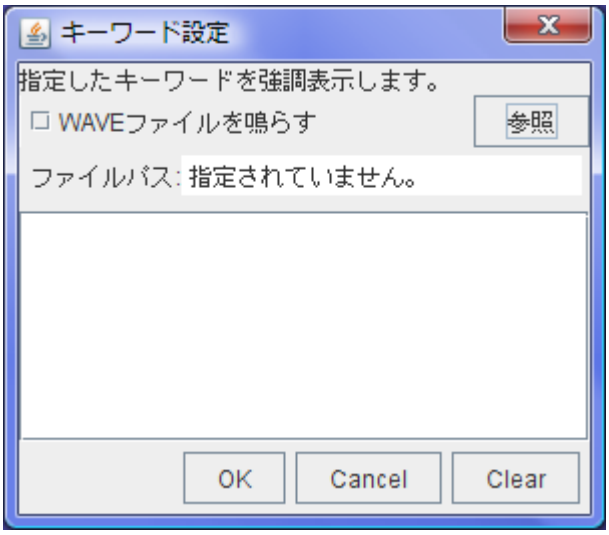


メニュー[編集]－[クリア]をクリックすると、ログも含めて全ての発言内容が消去されます。この操作はセッションに参加している全てのユーザーに適用されるのでご注意下さい。

※自動保存機能では、随時ログを保存している為、クリアしてもログが削除できません。

f.キーワードを設定する



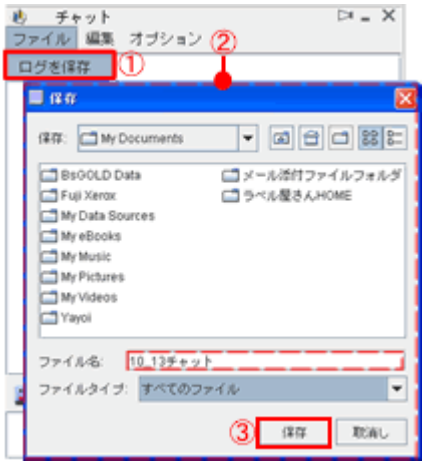


※ あらかじめキーワード(自分の名前など)を設定しておくと、そのキーワードが入力された際にキーワードの表示が強調され、さらに Windows タスクバー上のセッションタイトルがオレンジ色に点滅して、キーワードが入力されたことを知らせてくれるので、とても便利です。

※ 更に WAVE ファイルを鳴らすにチェックを入れて WAVE ファイルを選択すると、キーワードが入力された際に音楽を鳴らす事ができます。

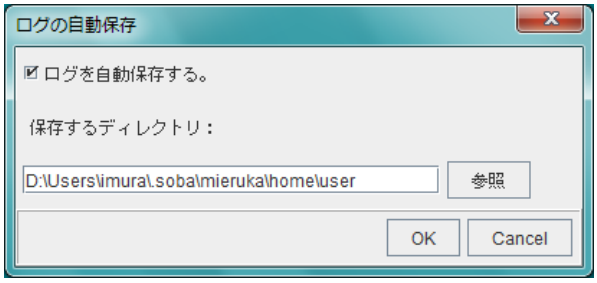
メニュー[オプション]ー[キーワード]をクリックすると、キーワード設定のウィンドウが表示されます。
キーワードを入力して(改行しながらいくつでも設定可能)、最後に[OK]をクリックし、設定は完了です。

g.ログを保存する



チャットの内容は、テキストファイルとして保存することができます。
メニュー[ファイル]ー①[ログを保存]をクリックすると、保存のウィンドウ②が表示されます。任意のファイル名を付けて③[保存]をクリックすると、ログが保存されます。(但し、フォントの色やサイズなどの属性は反映されません。)

h.ログの自動保存



メニュー[オプション]ー[ログの自動保存]をクリックして、[ログを自動保存する。]にチェックを入れると、Users¥(Windows のログイン名)¥.soba¥mieruka¥home¥user 内に chatlog_日付.log というファイル名で自動的にログが保存されます。(Windows XP の場合、Documents and Settings¥(Windows のログイン名)¥.soba¥mieruka¥home¥user)

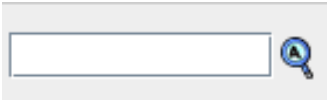
[参照]ボタンをクリックして、保存するディレクトリを変更することもできます。

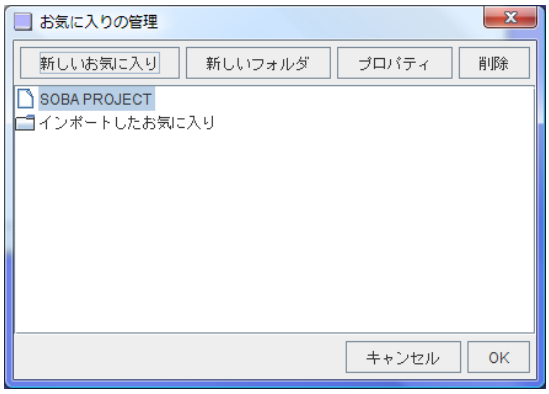
インターネット(ブラウザ共有)

(1)画面構成

	①Web ページ表示領域 ②メニューバー ③お気に入りバー(閉じることもできます) ④ツールバー ⑤ステータスバー

(2)基本操作

a.WEB ページを表示する	アドレスバーに URL を直接入力し Enter キーを入力すると、その WEB ページが表示されます。
b.ページを移動する 	前のページへ戻るときは**[戻る]**、次のページに進むときは**[進む]**ボタンをクリックします。 またはメニュー**[移動]**から**[戻る]・[進む]**を使います。
c.ページを更新する 	**[更新]**ボタンをクリックすると、表示内容を最新の状態に更新します。
d.操作を中止する 	ページを開く動作中に、**[中止]**ボタンをクリックするとページの移動や更新を中止します。
e.検索エンジンを利用する 	検索バーに検索したい文字を入力し Enter キーを入力するかボタンをクリックすると、Google の検索エンジンを利用した検索結果が表示されます。
f.お気に入りを利用する ※メニュー[お気に入り]から、登録されたページへの移動やお気に入りのインポートや登録・管理等ができます。	**・お気に入りからページに移動する** お気に入りから登録済みのページへ簡単に移動できます。なお、初期設定では、SOBA PROJECT のみ登録されています。
	・お気に入りに追加する よく参照するページは**[現在のページを追加]**で、お気に入りに登録できます。
	・お気に入りをインポートする お使いの Internet Explorer で登録されたお気に入りを、**[お気に入りをインポート]**で簡単にインポートできます。

<table>
<tr>
<td> 
</td>
<td>・お気に入りを整理する
[お気に入りの整理]から、左図のようなウィンドウが表示され以下の編集を行うことができます。

[新しいお気に入り] 名前と URL を入力してお気に入りを新規に作成します。
[新しいフォルダ] フォルダを新規に作成します。
[プロパティ] 登録済みのお気に入りやフォルダ名を表示し、名前・URL を変更することができます。
[削除] 登録済みのお気に入りやフォルダを削除します。削除前に、確認のダイアログが表示されます。</td>
</tr>
<tr>
<td> </td>
<td>・お気に入りバーを表示する
ブラウザの左端にあるスライダーをクリックすると、お気に入りを常に表示させることができます。</td>
</tr>
<tr>
<td>g.同期を取らない／同期時間を変更する

</td>
<td>・共有モードと非共有モードを切り替える
初期設定では、WEB ページの内容は他のメンバーと同期をとる[共有モード]になっていますが、以下のいずれかの操作で同期を取らない[非共有モード]にすることもできます。
・①S マークをクリックする。
（※クリックする毎に、共有⇔非共有のモードが切り替わります。共有モード ⇔ 非共有モード）
・②メニュー[共有]の[共有モード]でチェックを外す。

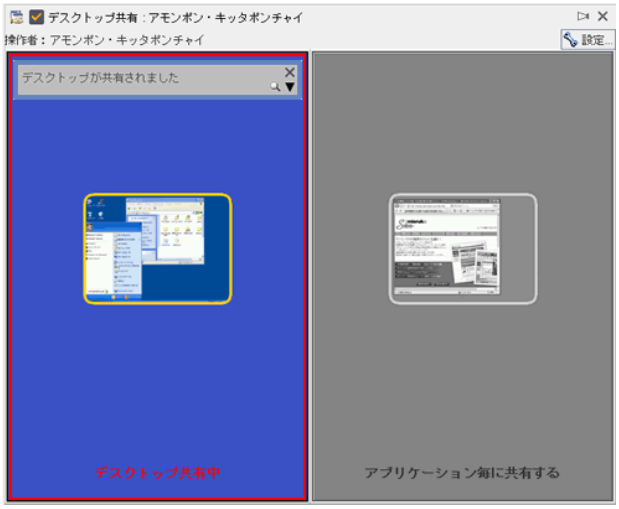
※なお、ページの移動は同期しますが、各自のページスクロールは同期しません。</td>
</tr>
</table>

デスクトップ共有

(1)画面構成

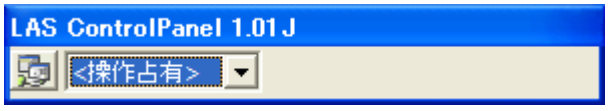
①サーバ側画面

◆デスクトップ共有モード

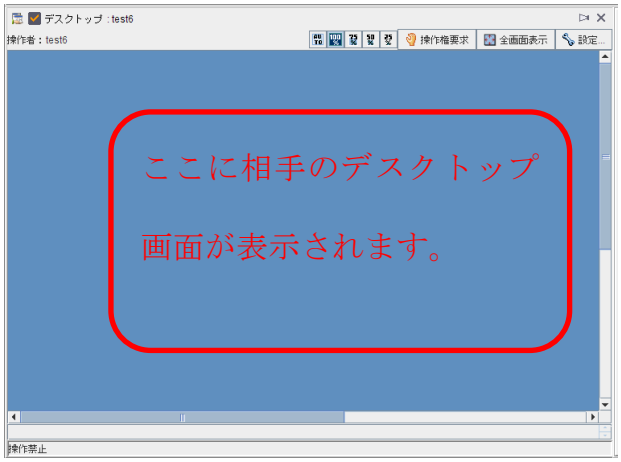


◆アプリケーション共有モード

◆LAS ControlPanel



②クライアント側画面



デスクトップツールを起動した側のデスクトップを共有します。ここではツールを起動した側を**「サーバ」**、画面を閲覧・操作共有する側を**「クライアント」**と呼びます。

①デスクトップツールを起動すると、デスクトップのツールウィンドウが開いて、起動したユーザーのデスクトップ画面が表示されてメンバーに共有されます。

◆**[アプリケーション毎に共有する]**を選択すると、デスクトップ全体ではなく、個々のアプリケーション単位で共有することができます。

◆デスクトップ共有ツールを起動すると、サーバ側の画面上に「LAS ControlPanel」が表示されます。
このパネルは、操作権を要求したユーザーに操作権を与えたりするために利用します。

②クライアント側には、デスクトップを共有したユーザーの画面が表示されます。アプリケーション毎に共有している場合は、該当のアプリケーションのみ表示されます。

※SOBA mieruka のアプリ共有ツールは、自分の共有したいアプリケーションだけを選択して共有します。「ホワイトボード」「インターネット」ツールとは異なり、同時に編集作業を行う際に考えられる混乱を避けるため、あえて操作権の要請・許可というプロセスを入れ、操作占有をひとりに設定しています。

※デスクトップ共有について、下記の場合、共有ができないことがあります。

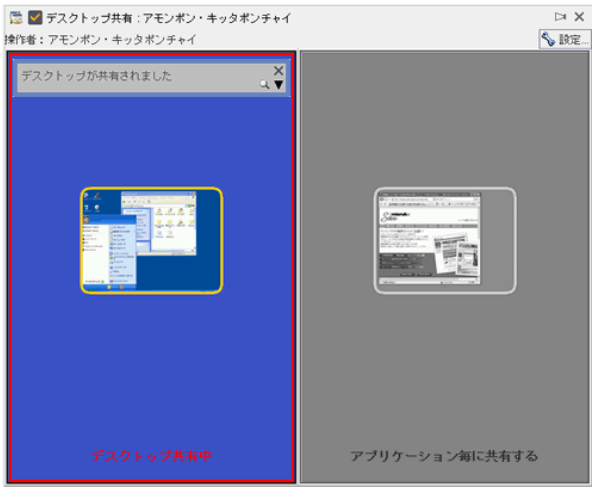
・ディスプレイドライバ(SOBA HOOK Driver)がインストールされていない。
→SOBA HOOK Driver をインストールする。

・ビデオメモリが不足している。
→対応として、ディスプレイの解像度や色数を下げてみる。

・他のアプリケーションが起動しており、起動しない場合。
→起動中のアプリケーションを一旦全て終了すると問題が解決される場合があります。

(2)基本操作

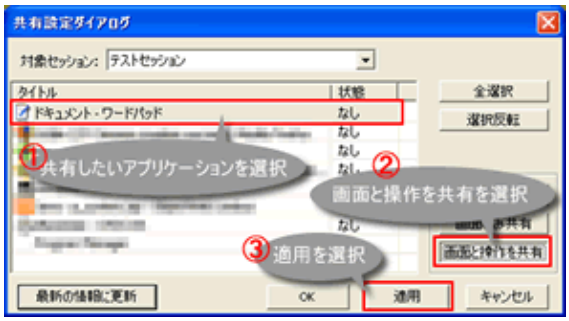
a.(サーバ側)デスクトップを共有する



デスクトップ共有ツールを起動すると、投入したユーザーのデスクトップがメンバーに表示されます。

ツール画面の表示は**[デスクトップ共有中]**と表示されています。

b.(サーバ側)アプリケーション毎に共有する



デスクトップ全てを共有するのではなく、アプリケーション毎に共有を設定することも可能です。
ツール画面右側の**[アプリケーション毎に共有する]**に切り替えます。
切り替えた時点でデスクトップ共有は解除されます。

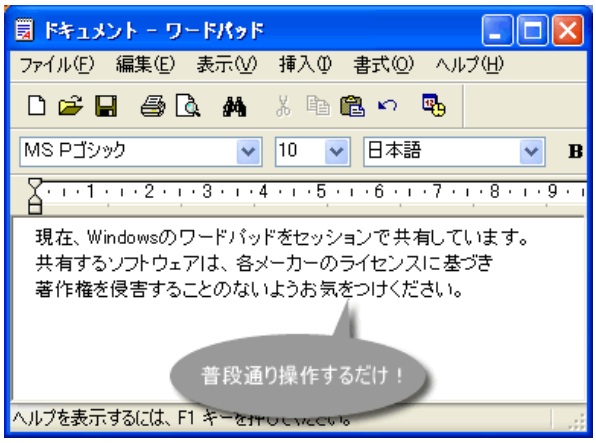
クリックすると、左下図のような**「共通設定ダイアログ」**が表示されるので、①共有したいアプリケーションを選択します。
実行中のアプリケーションが表示されるので、共有したいアプリケーションはあらかじめ立ち上げておいてください。
後からアプリケーションを開いた場合は、左下の**[最新の情報に更新]**をクリックしてください。リストが更新されます。

共有するには、②**[画面と操作を共有]**選択して③**[適用]**をクリックします。

c.(クライアント側)画面の表示サイズを変える

クライアント側では、表示する倍率を変更できます。5 サイズに切り替えられ、ボタンをクリックする度に、変更はリアルタイムに適用されます。Auto(画面サイズに合わせて表示されます)100%(操作者の操作画面が等倍で表示)75%(3／4 倍で表示)・50%(1／2 倍で表示)・25%(1／4 倍で表示)

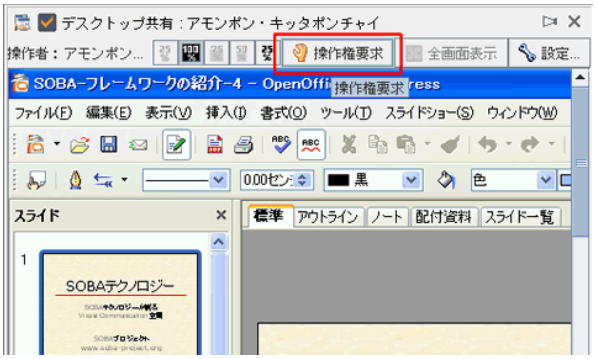
d.(サーバ側)アプリケーションを操作する



サーバ側は、共有したアプリケーションを普段通りに操作するだけです。セッションで共有しても特にウィンドウが表示されるわけではなく、画面上見た目の変化はありません。

Point! デスクトップ共有では全てが表示されるので問題ありませんが、アプリケーション毎に共有している場合、共有しているアプリケーションの上に何か別のアプリケーションが重なっていると、他のメンバー側にはその重なった部分は表示されなくなりますので、サーバ側は共有しているアプリケーションは常に一番手前に持ってきて操作しましょう。

e.(クライアント側)アプリケーションの操作を要求する



クライアント側の画面では、デスクトップや共有されたアプリケーションは、左図のようにツールウィンドウの中に表示されます。

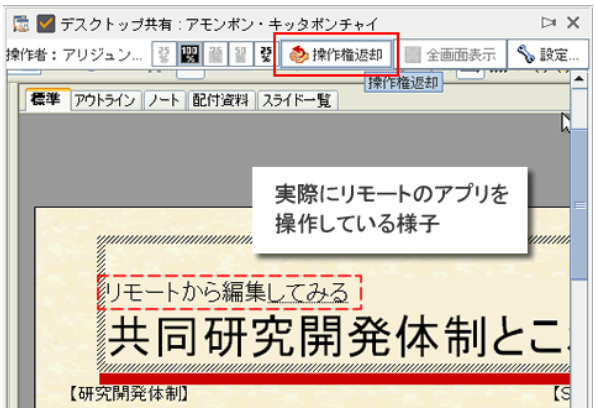
メンバーがデスクトップやアプリケーションを操作したい場合、操作者に操作権を要求し、許可を得る必要があります。
操作権を得るには**[操作権要求]**をクリックします。

f.(サーバ側)アプリケーションの操作を許可する

サーバ側で後述する設定画面で、「操作権の要求を自動承認する」にチェックが入っていない場合、メンバーが操作権を要求すると、操作者のコントロールパネルにその要求者の名前とタイムゲージが表示されます。操作者が要求者名をクリックすることで、アプリケーションの操作権はそのメンバーに移動します。

※デフォルト設定では操作権は自動承認になっています。

※タイムゲージが切れると、操作件要求は棄却されます。

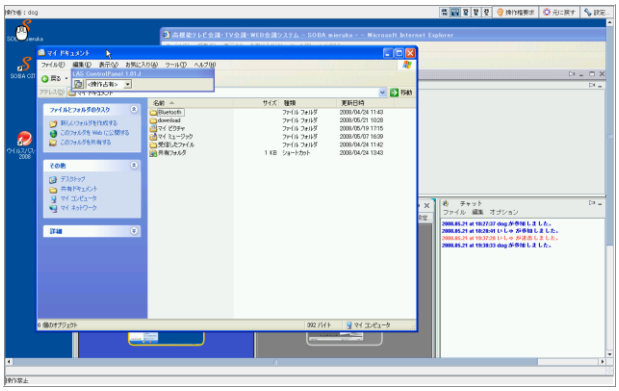


操作権を得たメンバーは、操作者代行となってまるで自分の画面で作業しているかのように、デスクトップや共有されたアプリケーションを自由に操作することができます。

[**操作権返却**]をクリックすると、操作権は元の操作者に戻ります。

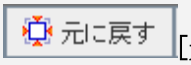
ただし、操作者には特権が設けられており、操作者代行がこのような操作をしなくとも、画面をクリックすることで操作権を強制的に取り戻すことができます。

g.(クライアント側)全画面表示で表示する



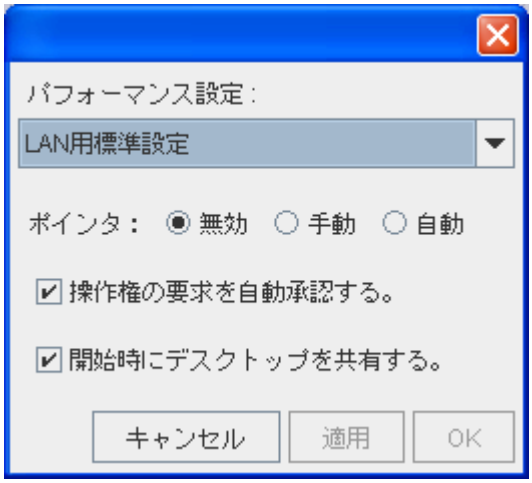
クライアント側は

[**全画面表示**]ボタンを押すと、デスクトップ共有の画面を全画面で表示することができます。全画面表示にして、省スペースなフレームに変更すると、あたかも自分のデスクトップと錯覚するぐらいの臨場感を得られます。



[**元に戻す**]ボタンを押すと、元の枠の中に表示されます。

h.(サーバー側)設定を変更する



設定... [設定]をクリックすると、設定変更用のダイアログが表示されます。

■**パフォーマンス設定**(初期設定は LAN 用設定)
アプリケーション共有では、操作者の帯域にあわせてパフォーマンス設定の変更ができます。操作者の帯域が低くネットワークが不安定な場合、この設定を正しくするとパフォーマンスが向上することがあります。

■**ポインタ**(初期設定は無効)

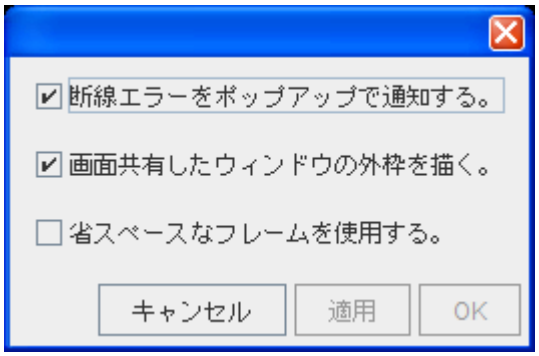
ポインタを有効にすると、マウスのアイコンが表示されます。ポインタを有効化することで、操作権をもつユーザーのマウスの動きを分かりやすく表示します。

無効: ポインタが表示されません。
手動: 操作権を持つユーザーが明示的にマウスポインタを動かします。
自動: メンバーのマウスポインタにあわせて自動的に移動します。

■**操作権の要求を自動承認する。**(初期設定 ON)
初期設定では、メンバーが出した操作要求を自動的に承認させるようになっています。このチェックを外すとメンバーが出した操作要求は操作者に許可されるまで操作権が移動することはありません。

■**開始時にデスクトップを共有する。**(初期設定 ON)
初期設定では、ツールの起動と同時にデスクトップが共有されますが、アプリケーションを選択しない限り共有されないようにもできます。

i.(クライアント側)設定を変更する



設定... [設定]をクリックすると、設定変更用のダイアログが表示されます。

■ **断線エラーをポップアップで通知する。**
アプリケーション共有中に回線が不安定になって切断された場合、そのことをポップアップで表示させることができます。

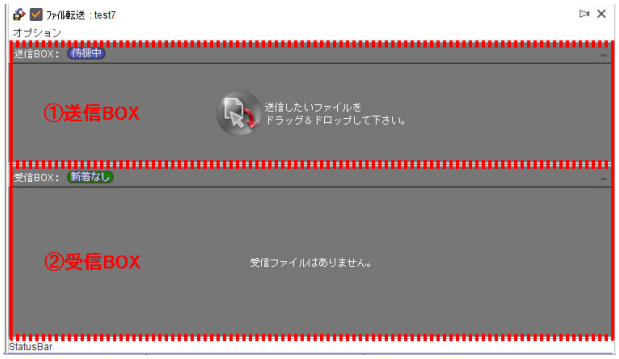
■ **画面共有したウィンドウの外枠を描く。**
共有したアプリケーションウィンドウの外枠を表示するかどうかを設定することができます。

■ **省スペースなフレームを使用する。**
アプリ共有ツールのウィンドウのフレームをシンプルにし、表示画面を少し大きくとることができます。

ファイル転送

(1)画面構成

標準画面



送信拡大時

受信時拡大

①[送信 BOX]②[受信 BOX]そして[ステータスバー]で構成されています。

ドラッグ＆ドロップの簡単操作で、ファイルの送信、受信ファイルの保存ができます。

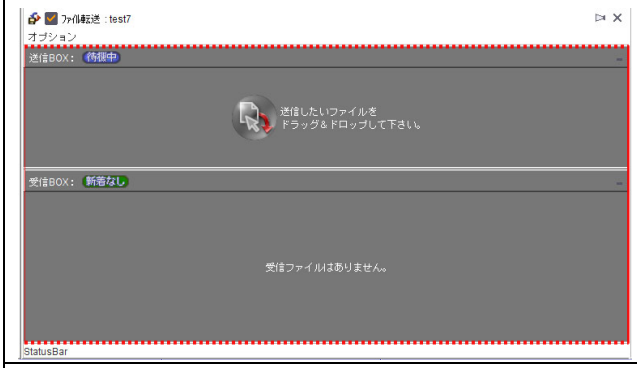
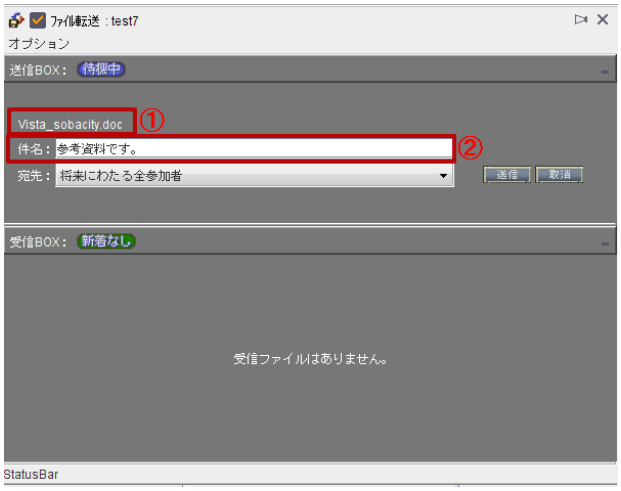
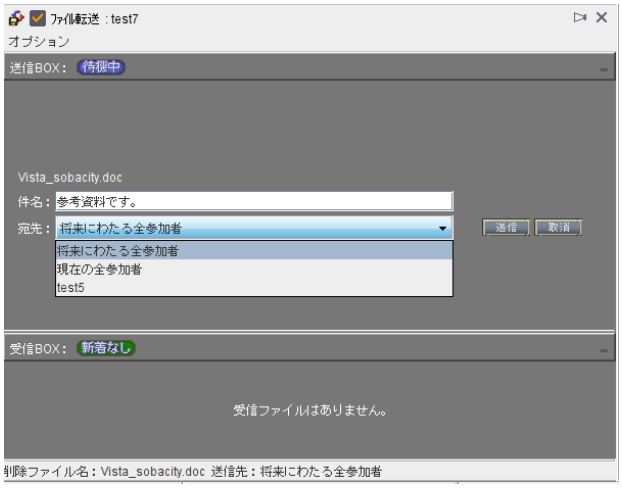
それぞれ「送信 BOX」「受信 BOX」を占有して表示させることができます。

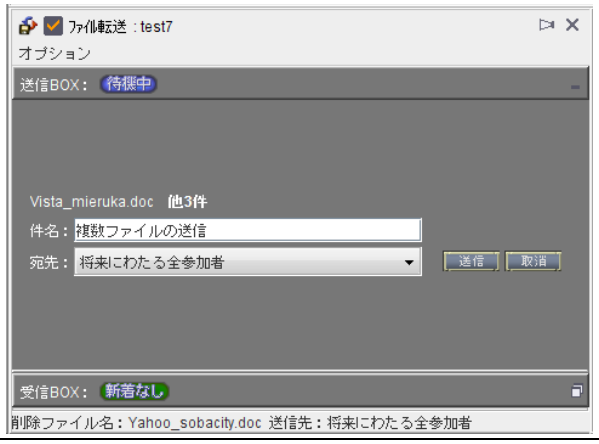
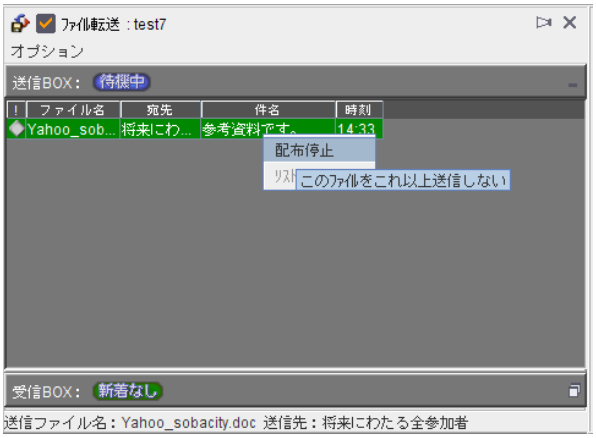
－ ボタンをクリックすると選択した BOX が最小化表示になります。

ボタンをクリックすると最小化した BOX を元の大きさに戻すことができます。

また「送信 BOX」「受信 BOX」の間の境界線をマウスでドラッグするとお好みのサイズに変更する事が可能です。

(2)ファイルの送信

a.ファイルを選択する  	送信したいファイルを、送信 BOX 画面にドラッグ＆ドロップします。
b.件名を入力する  	①には送信するファイル名が表示されます。 ②の[**件名**]に、簡潔に用件を入力します。未入力でも構いません。
c.宛先を指定する  	宛先をクリックすると、リストが表示されるので、ファイルの転送先を選択します。宛先は下記の通り任意に選択できます。 **＜将来にわたる全参加者＞** 今後セッションに入ってくる人を含め全員に送信する場合 **＜現在の全参加者＞** 現在セッションに参加している人全員に送信する場合 **＜ユーザー指定＞** メンバーの中から指定したユーザーのみに送信する場合

d.ファイルを送信する 	①[**送信**]ボタンをクリックすると、ファイルは選択した宛先に送信されます。 ②[**取消**]ボタンをクリックすると、今までの操作は取り消され、送信 BOX 最初の画面（前項 **a.**）に戻ります。
 	送信者の送信後の画面です。 送信 BOX のファイルリストには、ファイル名・宛先・件名・送信時刻が表示されます。 送信を行うとステータスバーに送信情報が表示されます。
e.複数のファイルを同時に送信する  	複数のファイルを送信するときは、送信したいファイルを選択する際（前項 **a.**で説明）に、複数のファイルを同時にドラッグ＆ドロップします。または、送信 BOX のファイルリストに、ひとつひとつドラッグ＆ドロップで追加していきます。 設定後、件名を入力し、宛先を指定して送信します。
f.ファイルの配信を停止する  	送信者の送信後の画面です。 宛先を[**将来にわたる全参加者**]に設定したとき、それ以上ファイルの配信をやめたいときは、リストの該当ファイルを右クリックし [**配布停止**]を選択します。

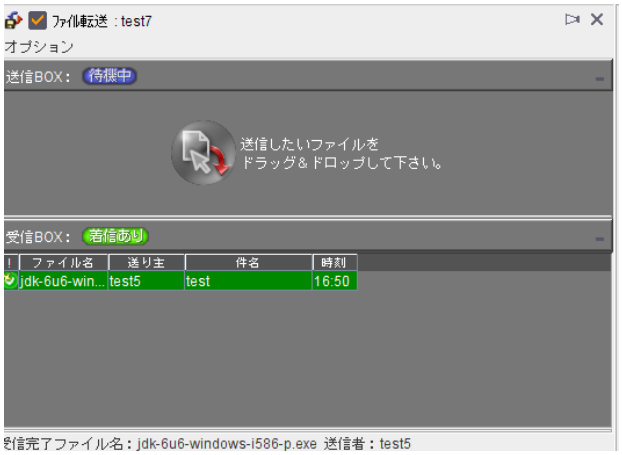
(3)ファイルの受信　［受信 BOX］タブから実行

a.ファイルを受信する

受信者側の受信中の画面です。

[受信 BOX]のタイトル部分が、**[受信中]**の表示になります。ファイルリストの左端の項目「**!**」には、ダウンロードの進行度合いが表示されます。
※　受信を停止したいときは　後項 **b.** を参照

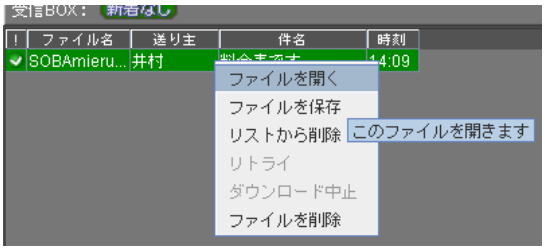
受信を開始するとステータスバーに受信情報が表示されます。



受信完了後の画面です。

タブが**[着信あり]**、**[!]**にはダウンロード完了のマークが表示されます。
受信 BOX のファイルリストには、ファイル名・送り主・件名・着信時刻が表示されます。

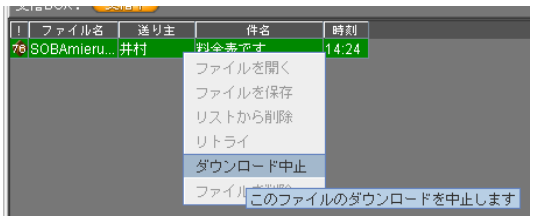
受信が完了するとステータスバーに受信完了の情報が表示されます。



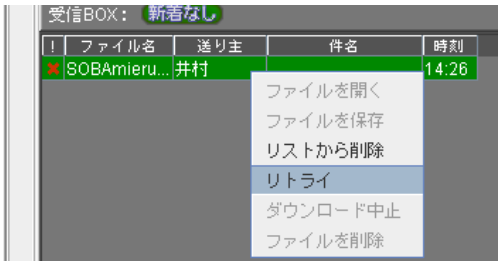
受信したファイルは、実行できるアプリケーションがあれば、ファイル名をクリックまたは右クリックして**[ファイルを開く]**で、すぐに開いて見ることができます。

デスクトップ上などに、ファイル名をクリックしてドラッグ＆ドロップすると、ファイルを保存することもできます。

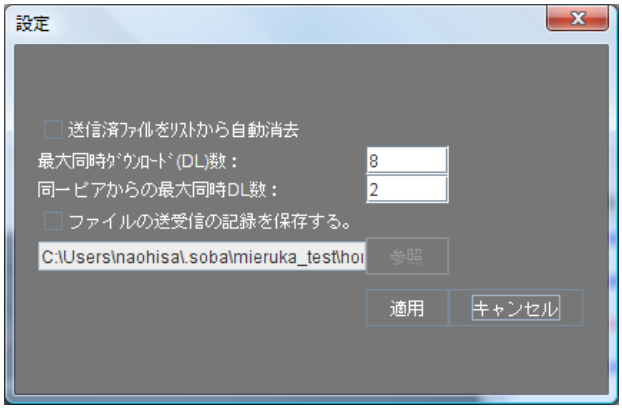
b.ファイルの受信を中止する



ファイルを受信中に、ファイル名を右クリックし、**[ダウンロードを中止]**を選択すると、ファイルの受信を停止することができます。保留状態となり、**[!]**は中止を表す✕マーク表示になります。

c.ファイルの受信を再開する  	ダウンロード中止後、再開したいときには、ファイル名を右クリックし、**[リトライ]**を選択すると、ファイルのダウンロードを再開することができます。

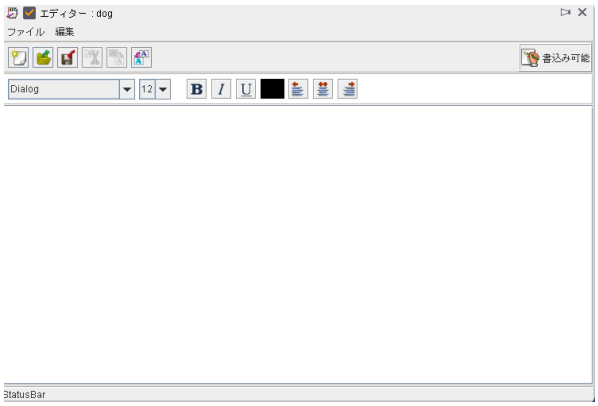
(4)設定方法　メニューのオプションから実行

 	**[設定]**画面では、以下の設定を行うことができます。 ①**[送信済ファイルをリストから自動消去]**にチェックを入れると、[送信]BOX のファイルリストから、送信済みファイルを自動除去します。 ②最大同時ダウンロード(DL)数 （初期設定 8)の変更ができます ③同一ピアからの最大同時(DL)数 （初期設定 2）の変更ができます。 ④ **[ファイルの送受信の記録を保存する。]**にチェックを入れると、ファイルの送受信の記録をログとして保存することができます。 初期設定では、Users¥(Windows のログイン名)¥.soba¥mieruka¥home¥user (Windows XP の場合、 Documents and Settings¥(Windows のログイン名) ¥.soba¥mieruka¥home¥user)内に filetransfer_日付.log と言うファイル名で自動的に保存されます。 [参照] ボタンで、保存するディレクトリを変更することも可能です。 最後に**[適用]**をクリックすると、設定が有効になり画面が閉じられます。

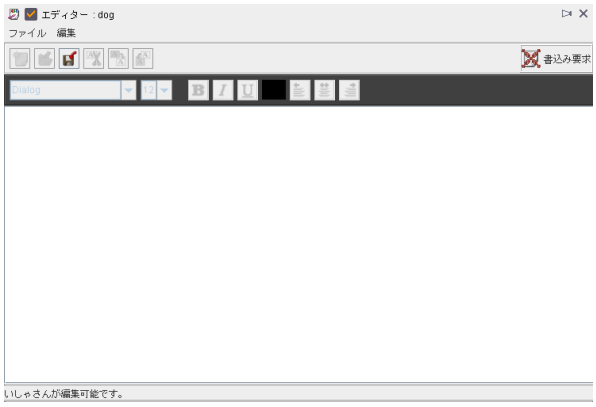
テキスト

(1)画面構成

■書込み可能時



書込み不可時



メニューバー

□ファイル（新規／開く／保存）
□編集（切り取り／コピー／貼り付け）

書込み可能な時は、全体が白色表示になり、全てのボタンが押せるようになります。

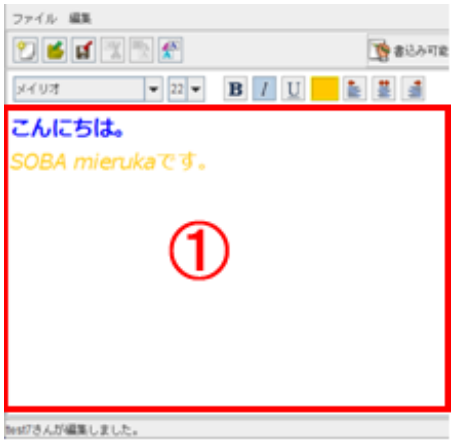
書込み不可の時は、全体が灰色表示になり、編集作業とは無関係の一部のボタンのみ押せるようになります。

アイコン

□新規
□開く
□保存
□切り取り
□コピー
□貼り付け
□書込み可能／書込み要求
□フォント変更
□フォントサイズ変更
□太字
□斜体
□下線
□文字色変更
□左寄せ
□真ん中寄せ
□右寄せ

(2)基本操作

a.文字を入力する



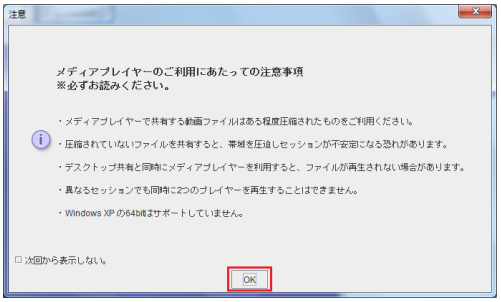
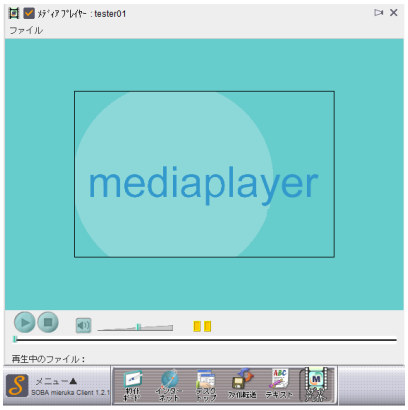
図中①のエディター入力欄にテキストを入力すると、入力欄に表示された内容がそのまま参加メンバーに共有されます。
日本語を入力した場合は、確定されるまで参加メンバーには反映されません。

また一度入力された内容は、自由に編集・削除する事ができます。もちろん、編集・削除された内容も参加メンバー全員に反映されます。

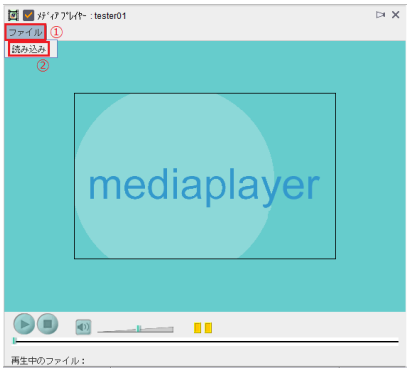
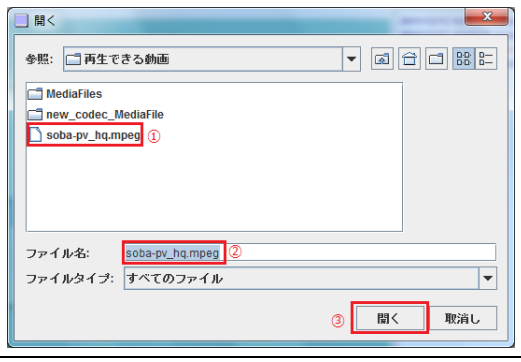
b.新規作成する 新規作成	新規作成します。現在表示されている内容は全て消去してから、新たに白紙のページを作成します。 ※書込み権限が無い場合は選択できません。
c.ファイルを開く ファイルを開く	ファイルを読み込みます。ファイル選択ウィンドウが表示されますので、リッチテキストファイルを選択してください。 またリッチテキストファイルのドラック&ドロップによる読み込みにも対応しています。 リッチテキスト以外のファイルの読み込みはサポートしていません。 ※書込み権限が無い場合は選択できません。
d.ファイルを保存する 名前を付けて保存	現在のドキュメントの内容をリッチテキスト形式で保存します。 保存したファイルは、ワードパッドや MS Word で閲覧・編集できます。
e.文字を編集する 	それぞれ、切り取り・コピー・貼り付けを行います。 テキスト入力エリア上で右クリックでも同様の操作が可能です。
f.書込み権限を得る 書込み可能 ／ 書込み要求	**[書込み要求]**になっている時は、グレー表示になりテキストを編集することができません。 編集したい場合、**[書込み要求]**ボタンをクリックして書込み権限を得ます。書込み権限があるとき、テキストは白表示になります。
g.フォントを変更する フォント変更	フォントの種類とフォントサイズを変更できます。
h.文字を装飾する 太字、斜体、下線	それぞれのボタンを押すと太字、斜体、下線で文字が記入できるようになります。
i.レイアウトを変更する 左揃え、中央揃え、右揃え	指定した行を左揃え、中央揃え、右揃えに変更できます。※但し、この情報のみ保存できません。
j.文字の色を変更する 	合計 10 色の中から文字の色を選択できます。

メディアプレイヤー（動画共有）

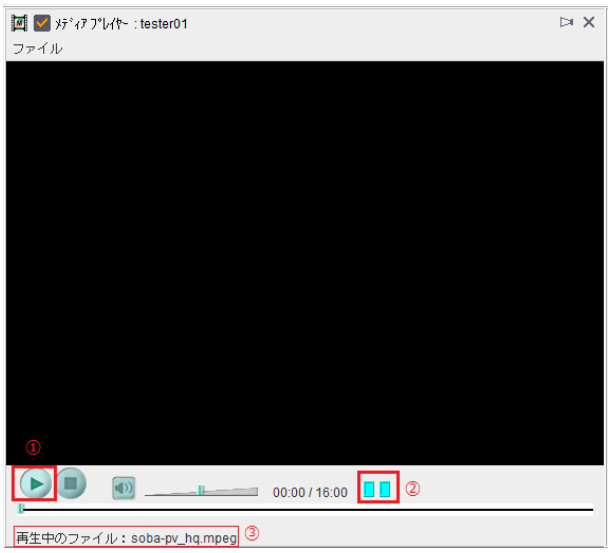
(1) メディアプレイヤーを起動させる

	動画ファイルを再生共有したいユーザーが「メディアプレイヤー」のツールを起動します。
	**メディアプレイヤーのご利用にあたっての注意事項**が表示されますので、内容をご確認ください。 読み終えたら［OK］をクリックしてダイアログを閉じるとメディアプレイヤーツールが起動します。 ※次回から表示しない場合はチェックを入れます。
	メディアプレイヤーの画面が開きます。 メディアプレイヤーは起動したユーザー以外は、他のメンバーから再生・停止などの操作を受け付けません。

(2) 動画ファイルを読み込む

	次に、メディアプレイヤー上部にある「ファイル」から「読み込み」でファイル選択を表示します。
	ファイル選択画面が表示されます。共有可能の動画ファイル拡張子は<.mpg><.mpeg><.mov.avi><.asf><.wav><.mpga><.mp4><.flv><.wmv><.m4v>です。 (拡張子は対応していても動画コーデック・動画ファイルの大きさによっては再生しないものがあります。) ①ファイルを選択します。 ②選択したファイルが表示されていることを確認します。 ③「開く」を押します。 選択が完了すると、ダイアログが閉じます。

(3) 各 PC のセッション状態確認



読み込みが成功すると画面が黒くなり、

①再生ボタン が押せるようになります。

②は共有された他のメンバーの PC の準備状態を表します。色の表示は３種類あります。

「再生準備完了」「再生中」「一時停止中」「停止中」

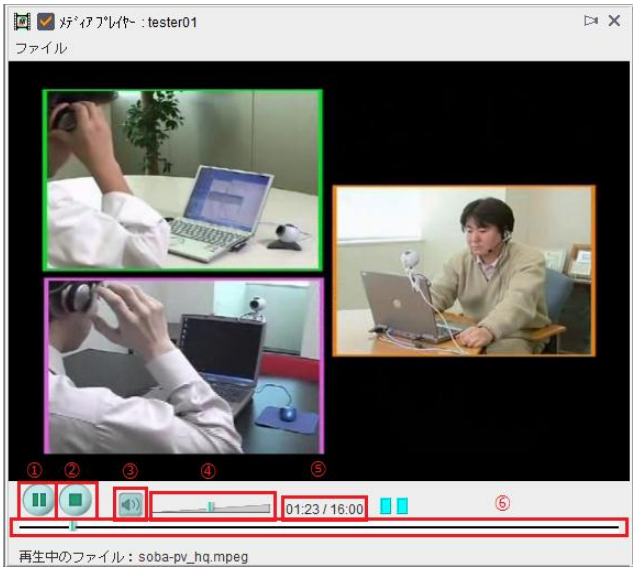
「初期状態」「読み込み中」

「エラー状態」

また、どの PC がどの状態にあるのかを詳しく知るには、マスウを状態表示に合わせることで、マウスの下にポップアップが表示されます。(他の PC の準備が整っていない状態で再生をすると、各 PC への動画配信がずれることがあります。)

③は動画再生中のファイル名を表示しています。

(4) メディアプレイヤーの機能説明



再生ボタン を押すと、動画が再生されます。

動画再生中に行える操作は以下のとおりです。

①一時停止

②動画停止

③消音 → **消音解除**

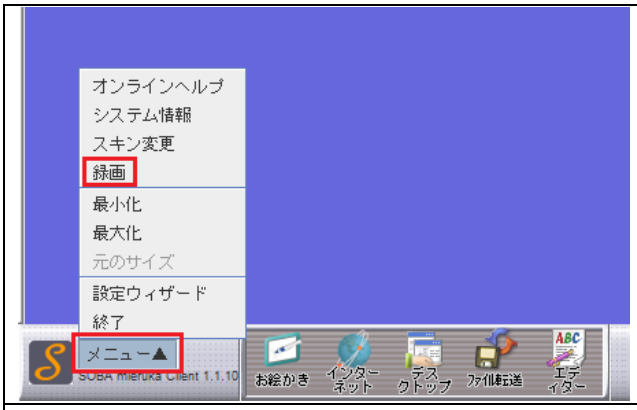
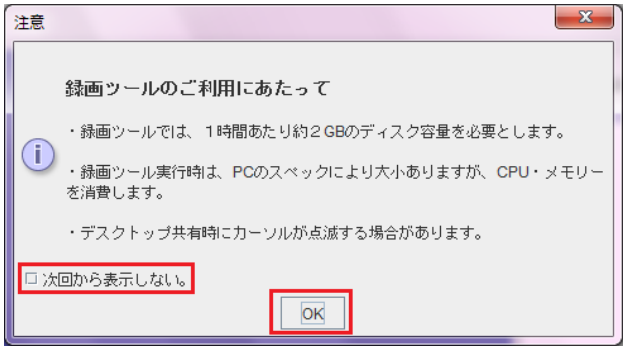
④音量調節

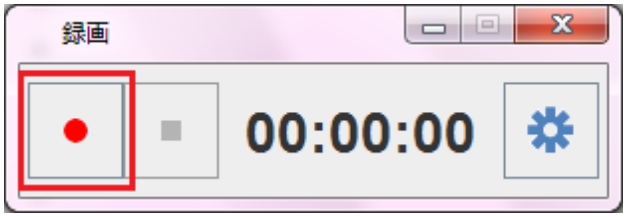
⑤再生時間表示

⑥シークバー・・・動画再生位置を操作できます。

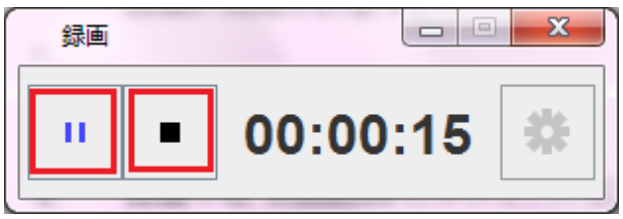
10. 録画機能

(1) 録画を開始する

<table>
<tr><td> 
</td><td>録画を行うには、メニューから［録画］を選択します。
録画操作を行ったパソコンで表示されるデスクトップおよび再生される音声が録音録画され、そのパソコンに保存されます。</td></tr>
<tr><td> 
</td><td>録画ツールのご利用にあたっての注意事項が表示されますので、内容をご確認ください。
読み終えたら［OK］をクリックしてダイアログを閉じると、録画ツールが起動します。

※次回から表示しない場合はチェックを入れます。</td></tr>
<tr><td> 
</td><td>録画開始ボタンをクリックすると録画が開始されます。</td></tr>
<tr><td>
</td><td>録画中は Windows のタスクバーに常駐し、
S マークが表示されます。
録画を中断もしくは停止するにはこの S マークをクリックします。</td></tr>
</table>

(2) 録画中の操作について

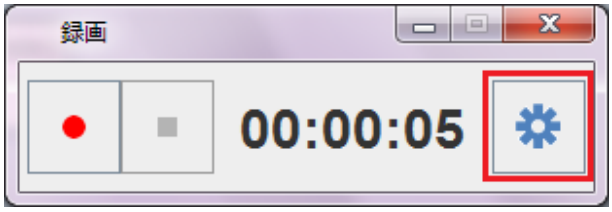
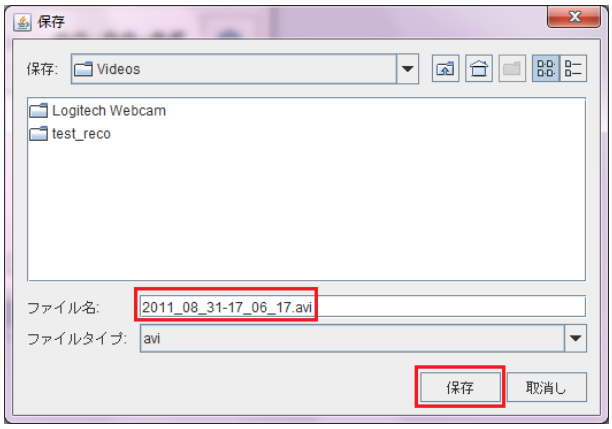
<table>
<tr><td> 

一時停止

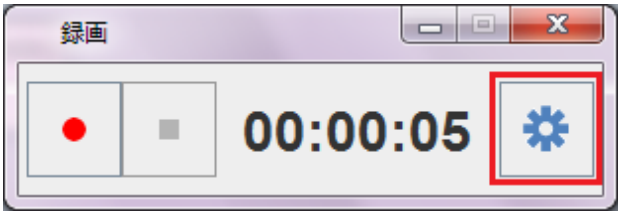
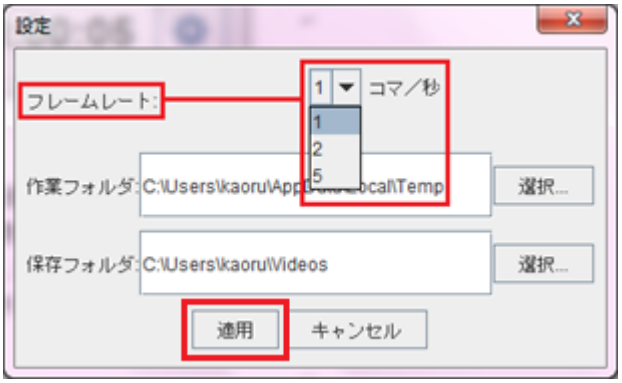
録画停止</td><td>タスクバーの S マークをクリックすると、
録画ツールのメインウィンドウが表示されます。

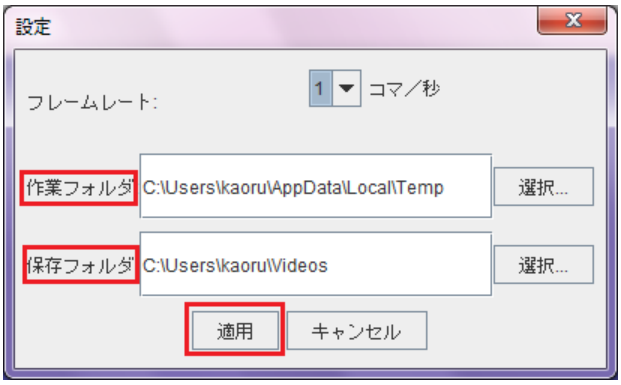
また、一時的に中断した録画を再開するには、
録画開始ボタンを押します。</td></tr>
</table>

(3) 録画を終了・保存する

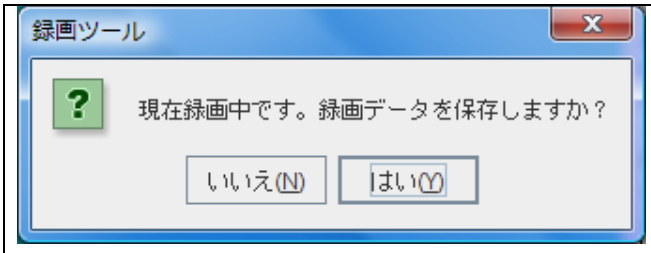
	録画ウィンドウツールを開きます。 ※録画ウィンドウツールは、録画中 Windows のタスクバーに常駐しています。**S マーク**で表示されています。
	**録画停止ボタン**をクリックすると録画が停止します。
	録画を停止すると、録画ファイルの保存先を選択します。保存先を選択した後、録画データを結合するために多少時間を必要とします。
	録画停止すると、保存先を選択するウィンドウが表示されますので、保存先フォルダを選択し任意のファイル名で［保存］します。 ※録画の保存形式は、**avi 形式**です。

(4) 録画機能の設定

	**設定ボタン**をクリックすると、設定ウィンドウが表示されます。
	［**フレームレート**］画像を記録する時、一秒あたり何コマの画像を取得するのかを選択できます。数値が高いほど、滑らかに記録されますが、ファイルサイズは大きくなります。※初期設定では、1 コマ／秒が選択されています。設定が完了したら［適応］を押して、設定完了です。 ※録画フレームレートを大きくすると、PC に大きな負荷がかかります。お使いの PC スペックに合わせて、フレームレートをお決めください。

	**［作業フォルダ］**録画したファイルを一時的に保存するディレクトリを指定します。 **［保存フォルダ］**録画したファイルを最終的に保存するディレクトリを選択します。 設定が完了したら、**［適用］**を押して設定完了です。

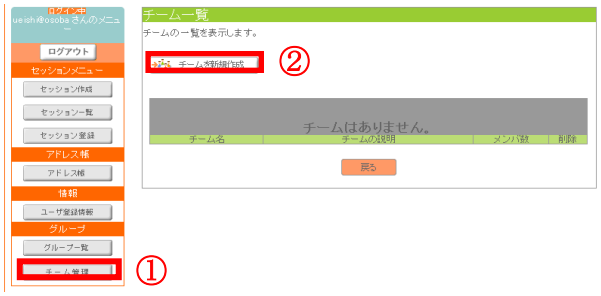
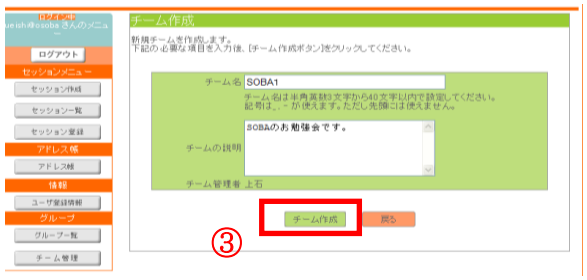
(5) 録画中にセッションが終了した場合

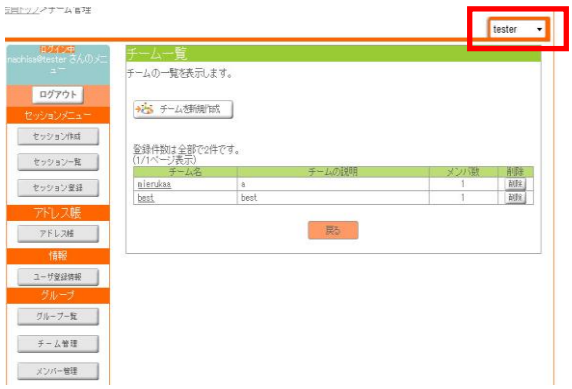
	録画中にセッションが終了した場合は図のように、録画データの保存を促すメッセージが表示されます。保存する場合は［はい］を押して保存、保存しない場合は［いいえ］で終了します。

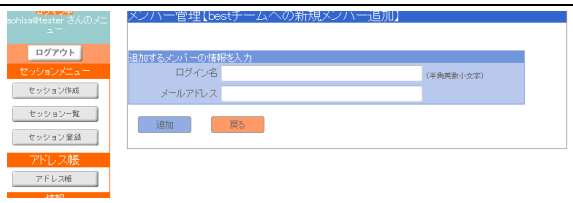
11. チーム機能

“チーム”とは、異なるグループ(ご契約企業毎に設定)に属するユーザー同士がグループの垣根を越えて任意に結成したり、同じグループ内で限定メンバーだけで任意に結成するいわゆる“限定メンバーグループ”のことです。限定メンバー以外のユーザーからはセッションの開催状況が分かりません。

チームの作成およびチームメンバーの管理

	チームを新規作成するには、メニューから①**[チーム管理]**、次に②**[チームを新規作成]**ボタンをクリックします。
	チーム名とチームの説明を記入し、③**[チーム作成]**ボタンをクリックすると、チームの作成は完了です。

	チームを作成すると、登録したチームの一覧が表示されます。 チーム作成者の Web ページ右上に、グループ／チーム切替用のタブがあらたに表示されます。 今後はこのタブを切り替えて、グループ・チームで使用します。 また、ページ左端に[メンバー管理]のメニューが追加されます。
	チームのメンバーを登録するには、メニューのグループ①[**メンバー管理**]、次に②[**一覧表示**]ボタンをクリックします。
	現在編集可能なチーム一覧が表示されています。 メンバーを新規に登録するには、③[**メンバー**]ボタンをクリックします。
	メンバーを新規に登録するには、④[**メンバーをアドレス帳から追加**]ボタンもしくは⑤[**メンバーを個別に追加**]ボタンをクリックします。
	[**メンバーをアドレス帳から追加**]ボタンをクリックすると、新規メンバー追加の画面になります。 ここではアドレス検索してメンバーを追加します。 ※アドレス帳もチームに存在するメンバーのみ表示されますので、他のチームやグループのメンバーを追加したい場合は、右上のタブを切り替えてからアドレス検索を行ってください。

	[メンバーを個別に追加]ボタンをクリックすると、新規メンバー追加の画面になります。 ここでは、SOBA mieruka ユーザーのログイン名と、登録メールアドレスを入力することによってチームのメンバーに追加することができます。 ※ここでは新規にユーザーの登録はできませんので、現在 SOBA mieruka ユーザーの中から選んで追加します。

12. アドレス帳

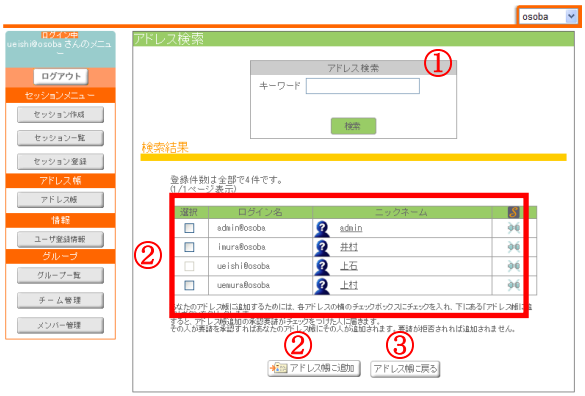
SOBA mieruka のアドレス帳は登録したユーザーのオンライン・オフライン状態を表示するだけでなく、ユーザーの招待機能などを備えています。

アドレス帳を作成する

他のユーザーを招待してセッション作成する際、アドレス帳から登録メンバーを検索しますので、よくコミュニケーションするユーザーはあらかじめアドレス帳に登録してください。メニューから[**アドレス帳**]ボタンをクリックするとアドレス帳が表示されます。

(1)アドレス帳の構成	
	①[**検索してアドレス帳に追加**]このボタンからアドレス検索の画面に移動します。 ②**選択(チェックボックス)** チェックを入れて下にある[セッションに招待]ボタンをクリックし、セッション作成画面が開き、他のユーザーを招待し、公開セッションを作成することができます。 ③**(SOBA の起動状態)** このユーザーが SOBA mieruka クライアントを起動しているかどうかを表示します。 未起動状態 ／ 起動状態 ④**削除** そのユーザーをアドレス帳から削除します。 ⑤**ニックネーム** ユーザーのプロフィールが見られます。

(2)キーワード検索をする



※他のユーザーをログイン名、ニックネーム、メールアドレス等からキーワードで検索してアドレス帳に追加もできます。

①キーワードを入力し[**検索**]ボタンをクリックします。検索結果が表示されたら、その中から②アドレス帳に追加したいユーザーのチェックボックスにチェックを入れて、②[**アドレス帳に追加**]ボタンをクリックすると追加登録ができます。

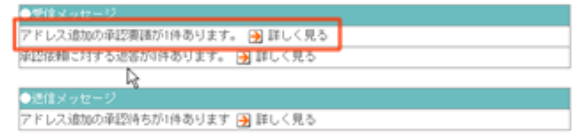
なお、**キーワード「*」(半角アスタリスク)**でアドレス検索すると登録ユーザー(ログイン名　abc　順で)全て表示されます。

③[**アドレス帳に戻る**]ボタンをクリックすると、アドレス帳に追加せず、アドレス帳のトップ画面に戻ります。

(3)アドレスを登録する

アドレス帳に正式に登録するには、登録ユーザーへのアドレス追加要請／承認のプロセスが必要です。

[検索してアドレス帳に追加]をクリックすると、「**アドレス追加の承認要請**」のメッセージがチェックされたユーザーあてに自動送信されます。
アドレス帳には左図のように「承認依頼中」の状況が表示され、要請が承認されるとあなたのアドレス帳にそのユーザーが追加登録されます。保留・拒否されると登録できません。
承認依頼中の下に表示されている 取り消し ボタンをクリックすると承認依頼を取消す事ができます。



〔会員トップページのメッセージ欄↑〕〔↓詳しく見る〕

これは、アドレス追加の承認要請を受けたユーザーの画面になります。
会員トップページの受信・送信メッセージ欄には、アドレス追加の承認要請、またアドレス追加の要請をしている場合は承認されたのか・承認待ちの状態なのか、それぞれメッセージが表示されます。
受信メッセージにアドレス追加の承認要請が届いていたら、→**詳しく見る**、で内容を確認します。

承認要請で**＜承認＞にチェックし**[OK]をクリックし、さらに次の承認返信(確認)の画面で[**送信**]ボタンをクリックします。承認要請が送信されると、アドレス帳への登録は完了です。

アドレス帳の作成者の画面では、承認要請が通ると、受信メッセージに「承認依頼に対する返答」のメッセージが届きます。→**詳しく見る**、で承認返答の内容が確認できます。

他のユーザーを招待する

他のユーザーを招待してセッションを立ち上げるには、メニュー[**アドレス帳**]から行います。

アドレス帳の画面には、現在登録しているユーザーの一覧が表示されます。
参加者を招待するには、①一覧の左側のチェックボックスを選択し②[**セッションに招待**]ボタンをクリックします。**S**欄にはそのユーザーが SOBA mieruka クライアント(SOBA)を起動しているかどうかをあらわすマークが表示されていますが、起動時 のみ、招待が可能です。

[**セッションに招待**]ボタンをクリックすると、セッションの新規作成画面が表示されます。セッション名、トピックスを入力し、[**セッション作成**]ボタンをクリックすると、セッションが作成されます。
[**取り消し**]ボタンをクリックすると、承認依頼を取り消すことができます。
[**削除**]ボタンを押すと、アドレス帳に登録されたユーザーが削除されます。

13. ログアウト

ログアウトすると、クライアントソフトも自動的に終了します。
※なお、セキュリティ維持のため、最後にブラウザ操作を行ってから無操作状態が一定時間経過(4～5 時間)すると自動的にログアウトします。セッションの作成・参加のために Web からログインしますが、セッションに参加した後は、ログアウトした状態になってもセッションから切断されることはありません。

会員ページ左端メニューの[**ログアウト**]ボタンをクリックします。

次の画面が表示され、SOBA mieruka のトップページに戻れます。

14. その他

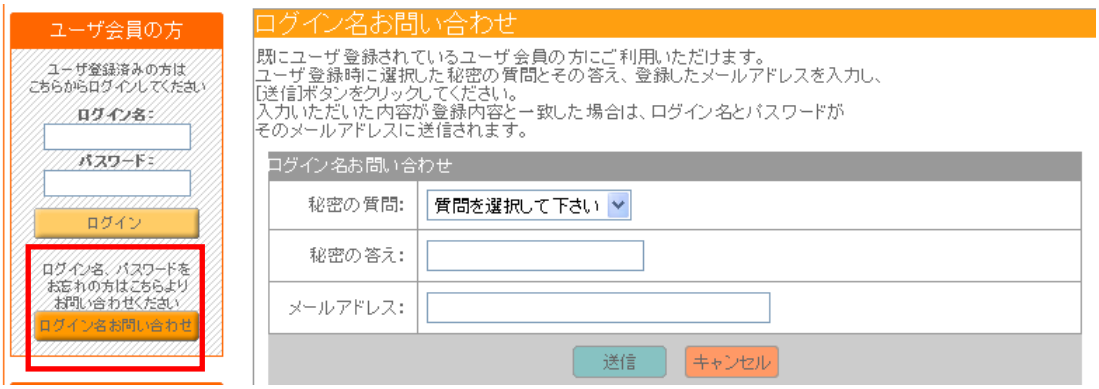
ユーザー登録情報の変更

メニュー情報[**ユーザー登録情報**]から、ユーザー登録時に登録した情報を表示し、編集することができます。

①[**基本情報を変更**]基本情報を編集したい場合は、このボタンで基本情報変更画面に移動します。

②[**任意情報を変更**]任意情報を編集したい場合は、このボタンで任意情報変更画面に移動します。

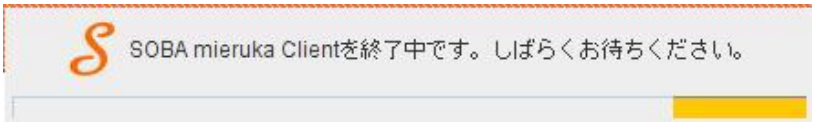
ログイン名・パスワードを忘れたとき



ログイン名・パスワードを忘れたときは、SOBA mieruka ログインページの左端メニューから[ログイン名のお問い合わせ]ボタンをクリックします。
ログイン名お問い合わせフォームに、ユーザー登録時の秘密の質問・答え・メールアドレスを入力し[送信]ボタンをクリックします。登録時のメールアドレス宛てにログイン名とパスワードの通知メールが送信されます。
なお、正式利用の方でお問い合わせで確認できない場合、グループ管理者にアカウントの削除・再登録を申請してください。

SOBA mieruka クライアントの起動と終了について

SOBA mieruka クライアントが起動中かどうかは、Windows のタスクトレイ(画面右下)の中に *S*マークが表示されていることで認識できます。



SOBA mieruka クライアントを終了させると、上のようなメッセージが表示されます。
S 起動は、SOBA mieruka ログイン時またはセッション作成・参加時に自動的に行われます。
サイトからログアウトしてクライアントソフトが終了しているにも関わらず、*S* がタスクトレイに表示されている場合は、*S*マークを右クリックして強制終了する必要があります。

15. 参考資料

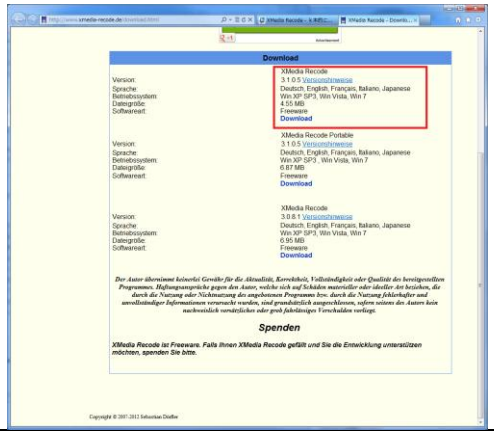
メディアプレイヤー再生用動画変換手順

SOBA mierukaのメディアプレイヤーでは、ビットレートが高いファイルを共有すると、帯域を圧迫しセッションが安定に動作しない場合がありますので、動画ファイルを圧縮して共有することを推奨しております。
下記はフリーソフトウェアである「XMedia Recode」を使用して動画の変換を行う方法を記述しています。

XMedia Recode のダウンロード

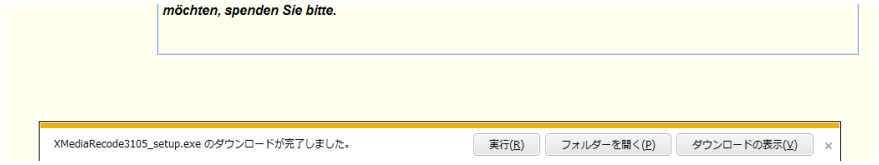
はじめに「XMedia Recode」をインストールします。下記のリンクから XMedia Recode をダウンロードし、インストール作業を行います。
http://www.xmedia-recode.de/download.html
赤枠の Download をクリックしてファイルを保存します。

※このマニュアルでは 2012 年 6 月の時点で最新バージョンである XMedia Recode 3.1.0.5 をダウンロードして解説します。
またブラウザは Internet Explore 9 を利用しています。



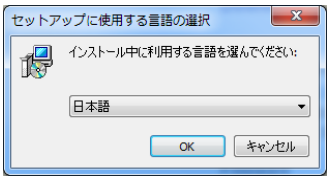
インストール

ダウンロード後、XMediaRecode3105_setup.exe をクリックして実行します。
もしくは、インターネットエクスプローラー上に表示されている実行ボタンをクリックします。

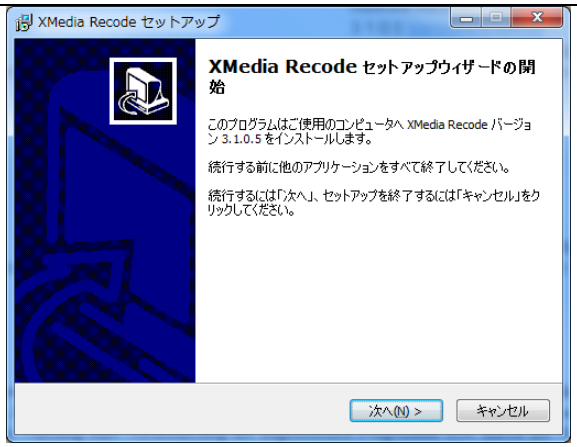


実行すると、初めにセットアップに使用する言語の選択から始まります。

日本語を選択して[OK]ボタンをクリックして下さい。



インストール作業はウィザード形式です。
基本的には[次へ]をクリックするだけで問題ありません。
理解できる方のみ変更してください。

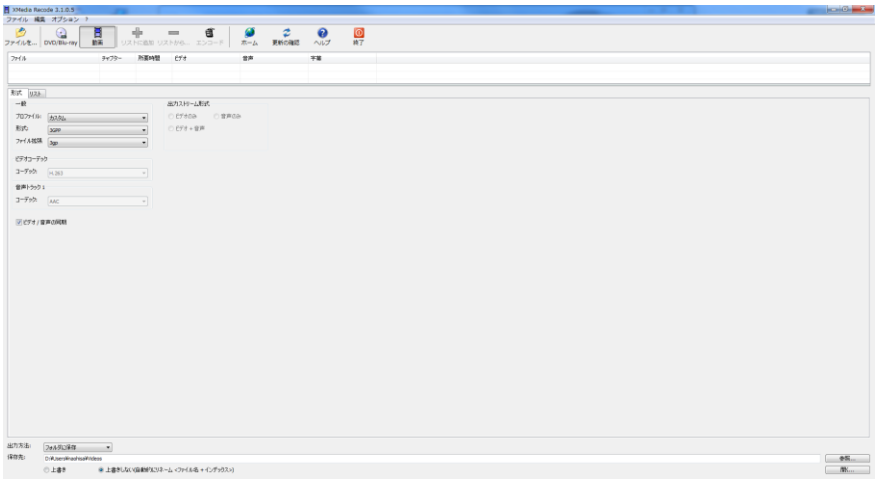


インストールが完了すると、XMediaRecode を実行するにチェックが付いていますので、そのままの状態で[完了]をクリックします。

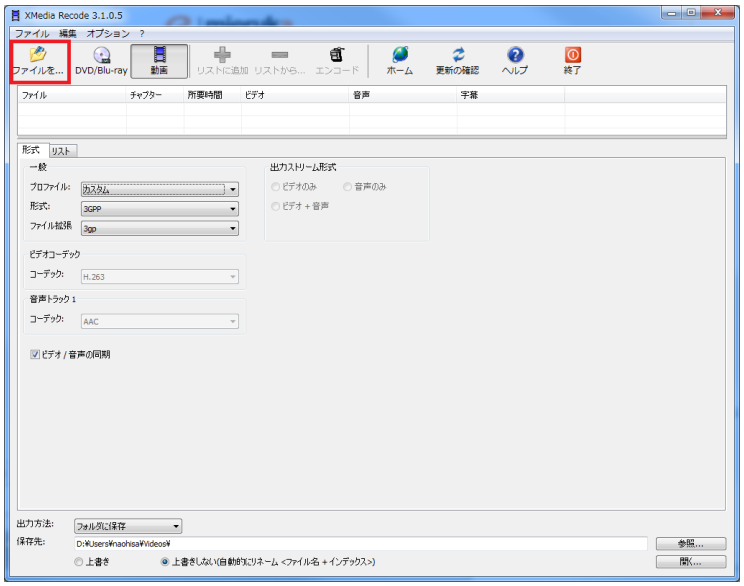
MediaRecode の実行と設定

インストール直後はそのまま完了をクリックするとアプリケーションが実行されます。

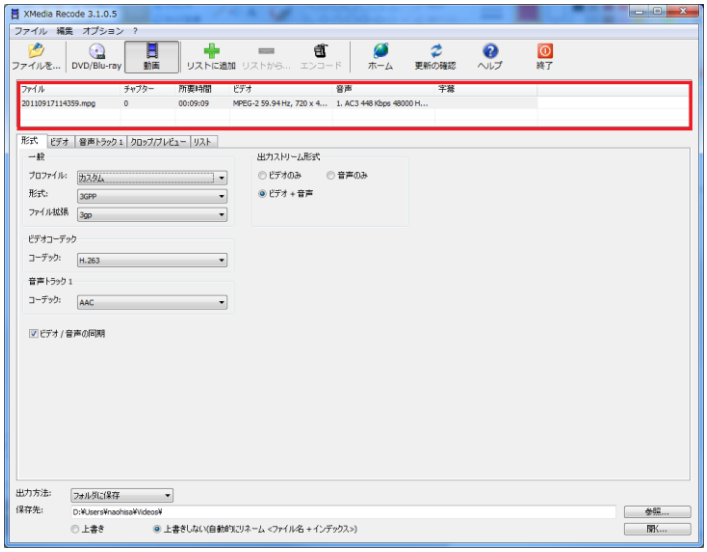
※今後、実行する時はデスクトップのショートカットもしくはプログラムの一覧から XMediaRecode を選択して実行します。XMediaRecode が起動した直後はこのような画面になります。



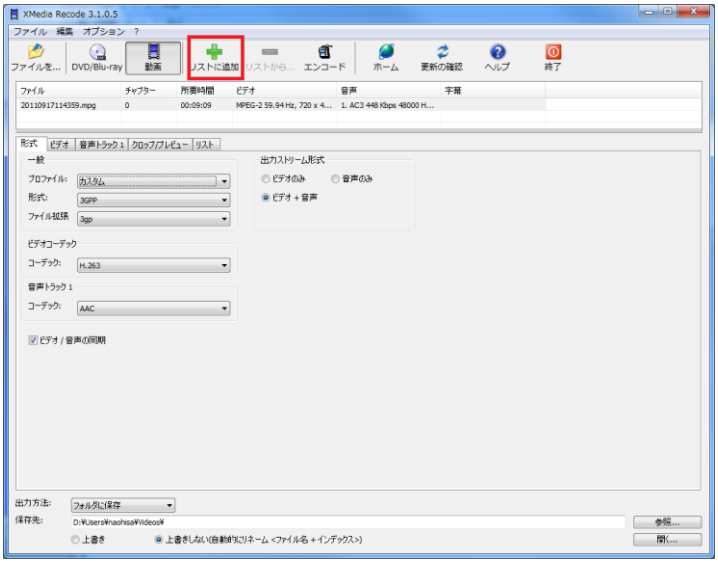
まず変換する動画ファイルを追加します。右上にある[ファイルを…]のボタンをクリックして、動画ファイルを選択します。



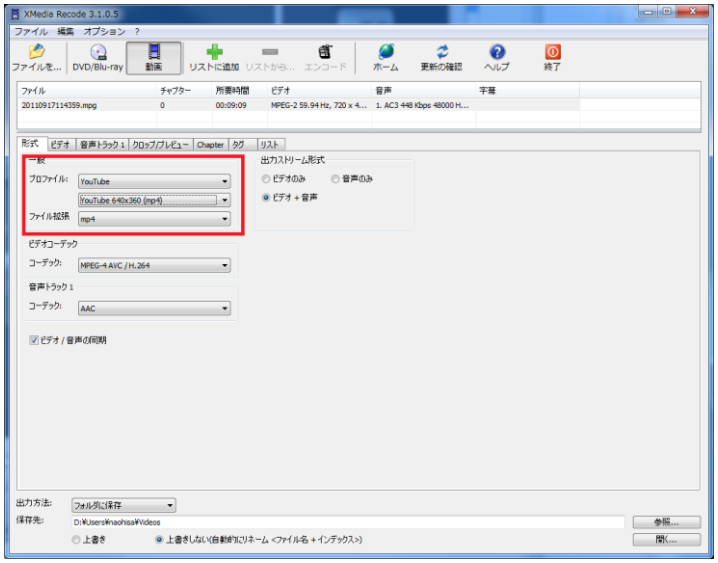
ファイルを追加すると、一覧に追加した動画ファイルが表示されます。



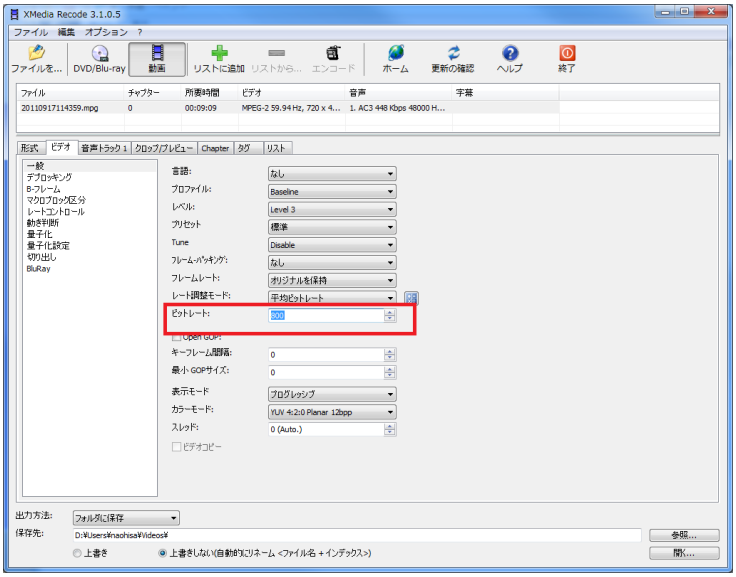
表示されたファイルをクリックして選択し[リストに追加]ボタンをクリックします。なお、ファイルの出力先は画面下から変更可能ですが、ここではデフォルトの Video フォルダのままにしています。次に、形式を変更します。



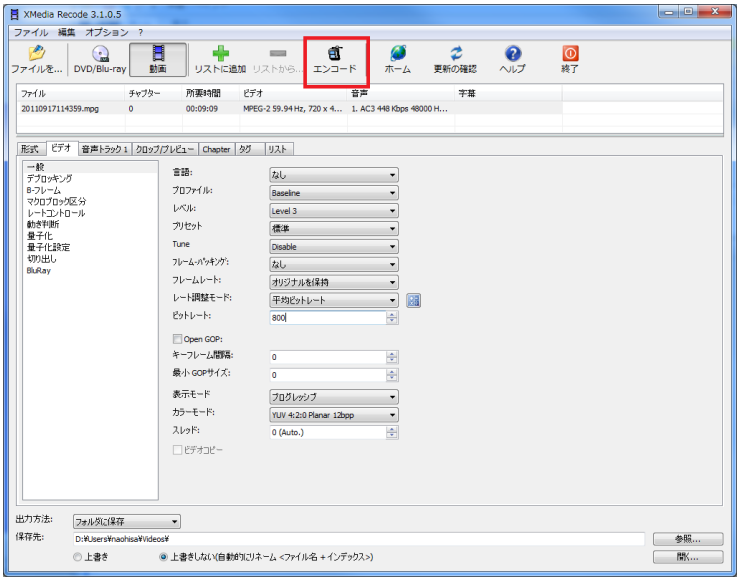
プロファイルの一覧から YouTube を選択します。
その下の一覧からは YouTube 640x360(mp4) もしくは YouTube 426x240(mp4)を選択します。



次にビデオタブを開いて、左の一覧から“一般”を選択後、ビットレートを 1000 から 800 以下に変更します。



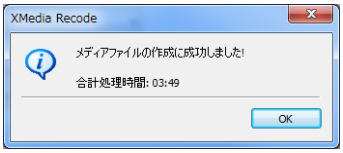
設定完了後、[エンコード]ボタンをクリックします。
エンコードボタンが押せない場合、一覧からファイルを選択して、リストに追加ボタンを押してください。



エンコード処理が始まります。
エンコードには時間がかかる場合があります。
エンコードが完了すると、ダイアログが表示されます。

以上でファイルの変換は完了です。
ファイルの出力先は指定したフォルダになります。

※尚、動画ファイル圧縮後にも関わらず、再生できない場合はビットレートを 800 よりさらに下の 600 ぐらいまで下げてください。



デジタルビデオカメラ使用手順（I-O-DATA GV-USB2）

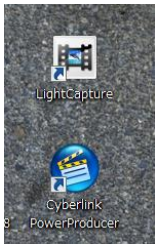
■使用するUSBビデオキャプチャ：　I-O DATA　GV-USB2

ソフトウェアエンコード対応のUSB ビデオキャプチャを使って、デジタルビデオカメラの映像をパソコンに取り込めます。

①まずは、USBビデオキャプチャー　I-O DATA GV-USB2のドライバをインストールします。付属のCD-ROMから「自動インストール」をクリックします。「開始」をクリック後指示が出たらパソコンにキャプチャーをつなぎます。詳しくは製品の取扱説明書(P.5使えるようにする)をご参照ください。

②インストール完了後にデジタルビデオカメラをつないでカメラの電源を入れます。

③付属ソフトの「LightCapture」（デスクトップ上のショートカットから起動します）で画面が表示されるのを確認し、必ずソフトを終了させた後に、設定ツールで確認してください。



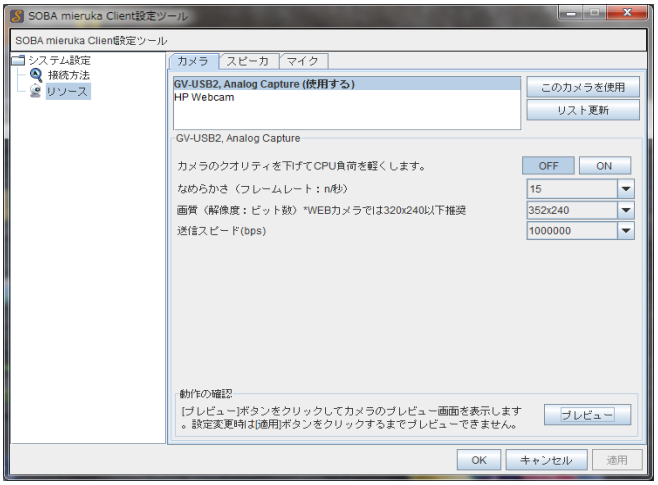
④デバイスマネージャー上では「GV-USB2、AnalogCapture」として認識されます。

SOBA mierukaの設定では、以下のように設定します。

「GV-USB2、AnalogCapture」を選択（［このカメラを使用］）

設定値の変更～高画質の推奨設定→フレームレート：30／解像度：　720×480／送信スピード：500000(500K) ～ 1000000(1M)bps

最後に［適用］をクリックして設定完了



注意）デジタルビデオカメラのハイビジョン方式には対応していないため、カメラ本体の録画モードをフルハイビジョンにしていると映像が正常に取り込めない可能性があります。録画モードをSPモード（標準モード）またはLPモードを選択してください。★フレームレートは15か30を選択してください。（20、25は正しく表示できません。）　★利用できる解像度は352×240／360×240／704×480／720×480　の4種類（その他の設定値は正しく表示できません。）

デジタルビデオカメラ使用手順（Princeton デジ造 PCA-DAV3）

■使用するUSBビデオキャプチャ： Princeton デジ造映像版3 PCA-DAV3

ソフトウェアエンコード対応の USB ビデオキャプチャを使って、デジタルビデオカメラの映像をパソコンに取り込めます。

①まずは、USBビデオキャプチャーユニット「Princeton デジ造映像版3 PCA-DAV3」のドライバをインストールします。デジ造をPCに接続して、付属のCD-ROMから「かんたんインストール」をクリックします。詳しくは製品の設定ガイドをご参照ください。

②デジタルビデオカメラをつないでカメラの電源を入れます。

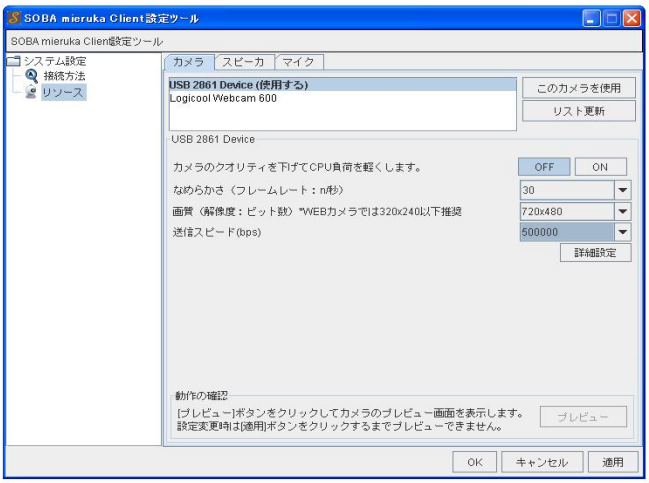
③デバイスマネージャー上では「USB 2861 Device」として認識されます。

SOBA mierukaの設定では、以下のように設定します。

「USB 2861 Device」を選択（［このカメラを使用］）

設定値の変更～高画質の推奨設定→フレームレート: 30／解像度： 720×480／送信スピード: 500000(500K) ～ 1000000(1M)bps

最後に［適用］をクリックして設定完了



注意）デジタルビデオカメラのハイビジョン方式には対応していないため、カメラ本体の録画モードをフルハイビジョンにしていると映像が正常に取り込めない可能性があります。録画モードをSPモード（標準モード）またはLPモードを選択してください。★利用できる解像度は720×480のみです。（その他の設定値は正しく表示できません。）